

長崎市公式記録集

文化をみんなに



ながさきピース 文化祭2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年9月14日(日)→11月30日(日)

令和8年3月

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
長崎市実行委員会

ご挨拶

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
長崎市実行委員会会長

長崎市長 鈴木 史朗



ながさきピース文化祭 2025（第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）は、長崎市をはじめ県内全域において、全国から多くの皆様をお迎えし、盛況のうちに閉幕いたしました。

本文化祭の開催にあたり、長きにわたり準備を重ね、多大なるご尽力を賜りました各芸術文化団体の皆様、熱心にご参加いただきました皆様、そしてご支援、ご協力をいただきました全ての関係者の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

「文化をみんなに」というキャッチフレーズのもと開催された本文化祭では、長崎市実行委員会主催として計37の事業を展開いたしました。分野別交流事業8事業（茶道、合唱、邦楽、川柳、かるた、大正琴、健康マーじゃん、いけばな）に加え、音楽、美術、舞台芸術など多岐にわたる地域文化発信事業29事業を通じて、長崎が誇る歴史や文化の魅力、そして平和への祈りを広く発信いたしました。世代や地域、障害の有無を超え、多くの皆様が芸術文化を楽しみ、新たな絆が育まれたことを大変嬉しく思います。

ご来場いただいた皆様におかれましても、芸術文化に親しむ豊かな時間となり、今後の継続的な参加へつながる一歩となりましたら幸いです。

また、被爆80周年の節目を迎えた令和7年、平和を願う数々の取組みを通じ、芸術文化を心ゆくまで楽しめる日常の尊さを再認識いたしました。この平和への想いを皆様と分かち合えたことは、本文化祭の大きな成果であります。

このような成果を踏まえ、本文化祭で育まれた交流や感動を一過性のものとせず、今後も芸術文化活動の機会創出や担い手の育成、交流促進など芸術文化の振興に取り組み、市民一人ひとりが心豊かに、誰もが等しく芸術文化を享受できるまちづくりを推進してまいります。

目次

ながさきピース文化祭 2025 とは.....	4
長崎市実行委員会主催事業.....	6
分野別交流事業.....	6
茶道の祭典.....	6
全国邦楽合奏フェスティバル in 長崎.....	9
長崎の教会で歌おう「祈りの合唱の祭典」.....	12
川柳の祭典.....	14
小倉百人一首競技かるた全国大会.....	17
大正琴の祭典.....	19
全日本健康マーじゃん交流大会.....	21
いけばなの祭典～いける・いかす・いきる～.....	24
地域文化発信事業.....	27
ながさき流鏝馬まつり in 長崎.....	27
恐竜今昔物語～長崎における化石研究の軌跡～.....	29
歴史、文化、進化を感じるまちあるき×ながさきピース文化祭 2025.....	31
～長崎居留地 合唱とオペラの丘プロジェクト～ 合唱 オペラ「愛の妙薬」.....	33
長崎国際音楽フェスティバル 2025.....	36
長崎プッチーニフェスティバル 2025.....	39
第 48 回長崎郷土芸能大会（障害者交流事業）.....	43
長崎オリジナル刺繍体験.....	45
長崎〇〇LOVERS インスタグラム写真投稿キャンペーン.....	47
遠藤周作を偲ぶ一日.....	49
中山民俗舞踊研究所全国大会.....	51
被爆 80 年記念 平和と音楽の調べ 長崎ピース交響詩～音楽が奏でる愛の4楽章～.....	53
世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録 10 周年記念 フォトコンテスト写真展.....	57
被爆 80 年記念 原爆死没者名簿筆耕森田孝子大書道展.....	59
第 73 回長崎市民音楽祭.....	61
被爆 80 年記念 市民のつどい.....	63
長崎市障害者アート作品展（障害者交流事業）.....	65
～舞台は長崎～オペラ「蝶々夫人」全幕公演.....	67
市民参加舞台「或る長崎の灯り～三つの小作品～」.....	69
遠藤周作と小説「沈黙」の舞台をめぐるバスツアー.....	71
レッツ・インジョイ！みんなで「音」フェス ～観て、聞いて、参加して、1日まるごと音楽三昧～..	73
ミュージカル「出島から地球を見た男」～阿蘭陀通詞 志筑忠雄伝～.....	76
INFINITY NAGASAKI PEACE.....	78
被爆 80 年記念 ピーター・タウンゼント DAY 映画と朗読・音楽で 紡ぐ平和への想い.....	80
Nagasaki まちなか文化祭.....	82
ながさきピース文化祭 2025 日本舞踊公演.....	85
被爆 80 年記念 平和映画祭.....	87
ハートセンター文化祭（障害者交流事業）.....	89
ながさき・ピース・クラフト・コンテスト.....	92

プレイベント.....	96
広報活動.....	101
長崎市の各部局との連携による観光、食の魅力及び平和の発信の取組み.....	115
来場者数等・アンケート結果.....	118
資料.....	123

ながさきピース文化祭 2025 とは

「第40回国民文化祭」と「第25回全国障害者芸術・文化祭」の統一名称で、各種の文化活動を全国規模で発表・共演し、障害のある人もない人も共に参加して交流の輪を広げていく文化祭です。この祭典は全国規模の文化の祭典であり、国民文化祭は長崎県では初の開催でした。

長崎市実行委員会では、これまで全国規模の文化団体と共に各県で継続的に実施されてきた分野における発表、公演、交流を行う「分野別交流事業」8事業、長崎市の多彩な文化資源や観光資源等を活用して地域の魅力を発信する「地域文化発信事業」29事業（障害者交流事業3事業を含む）の計37事業を実施しました。

■国民文化祭

全国規模の文化の祭典で、国民の文化活動への参加意欲の喚起、新しい芸術・文化の創造を促し、併せて地方文化の発展へ寄与するとともに、生活の一層の充実に資することを目的としています。昭和61（1986）年に開催されて以降、毎年各県持ち回りで行われています。

■全国障害者芸術・文化祭

障害者の芸術文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与するため、全国持ち回りで開催されているものです。

※ 平成29（2017）年から国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭は一体的に開催されています。

キャッチフレーズ

文化をみんなに

会 期

令和7年9月14日(日)～令和7年11月30日(日) 78日間

ロゴマーク



平和の象徴「鳩」と、文化を育み、未来へと繋ぐ「手」がモチーフです。

ブルーは海外との文化の架け橋となった「長崎県の海」をイメージしています。

「ピース」に込められた平和の願い、文化芸術を通じて生まれるハッピーな交流、そして、手を差し伸べてお互いが助け合う思いやりを表現しています。

基本方針

①歴史を紐解き、未来へつなぐ海外交流

魏志倭人伝に記された壱岐・対馬や遣唐使の日本最後の寄港地である五島、大航海時代以降、西洋の音楽や美術、医学をはじめ、近代産業等の日本伝来の窓口であった長崎など、本県には海外との長い交流の歴史があります。これまでの国際交流の取組は本県の強みであり、文化芸術を通して県民の海外との交流を活発化させ、未来へと交流をつなげていきます。

②文化芸術によるまちづくり

文化を媒体に、誇りを持ってまちの人が暮らしている、その姿を見て人が入ってくる、という好循環を創り出していくことを目指します。地域に根付いている伝統芸能や祭り、埋もれている文化の掘り起こし、新たな地域文化活動に取り組むことにより、暮らしたくなるまちづくりにつなげていく契機とします。

③文化資源を活かした観光の推進

豊かな自然や歴史の中で培われてきた本県ならではの特別な体験ができるプログラムを提供します。長崎検番や神楽、浮立など地域に伝わる伝統芸能や地域で異なる歴史や食などの文化資源を活かし、県民一人ひとりがおもてなしの心で、地域の魅力を発信し、国内や海外からの誘客につなげていきます。

④若者や子ども達が創り出す新しい文化とながさきの未来

県民が主体的に地域文化に取り組むことにより、地域で守り育ててきた文化の大切さを一人ひとりが再認識し、次世代へつなげる契機とします。次代を担う若者や子ども達が主体的に関わることで長崎の良さに気づき、ふるさとへの誇りや愛着を醸成し、「ながさき愛」を高めるとともに、新しい文化を生み出すエネルギーとしていきます。

⑤文化芸術を通じた平和の継承

本県にはこれまでも多様なものを受け入れてきた寛容性があります。文化や国籍、価値観の違う人たちと交流し、お互いの理解を深め、多様性を尊重することが、人の心を豊かにします。県民が平和を身近なものとして捉え、文化芸術を通してその思いを表現し、行動することで、平和への願いを継承していきます。

⑥心のバリアフリーの推進

文化芸術活動を通して、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、互いに個性を発揮し、認め合い、共に楽しむことにより、社会を構成する一員であることを再認識し、相互の理解をより一層深める契機とします。

長崎市実行委員会主催事業

分野別交流事業

茶道の祭典

1 開催日時

裏千家：令和7年 9月21日(日) 10:00～14:00

表千家：令和7年10月12日(日)、13日(月・祝) 10:00～15:00

2 開催会場

長崎県庁 1階エントランスホール、8階展望室

3 概要

9月に裏千家淡交会長崎支部が行った「茶道の祭典」では、同支部がかねてより取り組んでいる長崎ならではの「平和」への願いを込めた平和祈念茶会との連携もあり、準備していたお菓子が品切れになるほどの大盛況となり、多くの来場者の方に茶道に触れていただきました。会場に日本庭園を思わせる坪庭を設けたことで大いに茶会の雰囲気を作ることができました。

10月の表千家同門会長崎県支部による「茶道の祭典」では、1階の特設の畳舞台でお点前を披露しながら、抹茶と長崎のお菓子をお出しし、多くの方々に楽しんでいただきました。8階展望室でも9月と同様、長崎港を眺めながら美味しい抹茶をいただくという特別な体験を満喫していただきました。

どちらの会でも来場者がお茶を点てる体験コーナーを設け、老若男女問わず初体験の茶道文化に触れていただきました。

4 プログラム

9月21日(日) 裏千家淡交会長崎支部

10:00 呈茶、体験コーナー、平和祈念茶会

10月12日(日)、13日(月・祝) 表千家同門会

10:00 呈茶、体験コーナー ※菓子がなくなり次第終了

5 来場者数等(延べ人数)

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	計
2,300人	137人	180人	2,617人

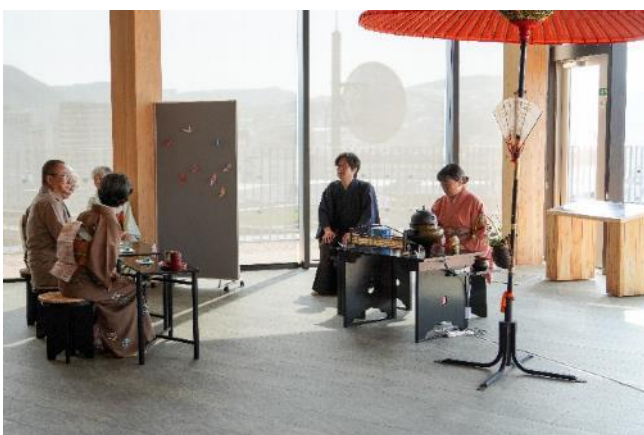
6 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、一般社団法人茶道裏千家淡交会長崎支部、一般社団法人表千家同門会長崎県支部

■裏千家淡交会



■表千家同門会





全国邦楽合奏フェスティバル in 長崎

1 開催日時

合同ワークショップ：令和7年10月4日(土)

全国邦楽合奏コンサート：令和7年10月5日(日) 10:00~16:00

邦楽ツアー：令和7年10月6日(月) 10:00~12:30

2 開催会場

合同ワークショップ、全国邦楽合奏コンサート：ベネックス長崎ブリックホール

邦楽ツアー：長崎市内各所

3 概要

全国から参加者を公募し、合同曲ワークショップや合奏コンサートを行いました。演奏を披露するだけでなく、全国の邦楽愛好家283名とプロによる合同演奏、招待演奏、特別演奏など、邦楽文化を通して全国の皆さんが交流を深めることができました。会場ロビーでは楽器体験や長崎の尺八の歴史などを展示したほか、最終日には邦楽ツアーを開催し、長崎市内の尺八ゆかりの地をめぐり、多くの方々に邦楽を楽しんでいただく機会となりました。

4 プログラム

10月4日(土) 合同曲ワークショップ

12:00~13:30 「ステラオブあかね.M.エンジェル」(大ホール)

12:00~13:30 「長崎十二景」(リハーサル室)

17:30~19:00 「響鐘-長崎被爆80年によせて-」(大ホール)

10月5日(日) 全国邦楽合奏コンサート

11:00 開会・市長挨拶

11:05 合同演奏 「長崎十二景」

招待演奏/鹿野竜靖 「水の旅」

琴の音会 「ヴァイオリン協奏曲」

千葉県三曲協会 「四つの小品」

和楽器オーケストラ邦楽合奏団「鼎」 「慧の空へ」

招待演奏/ちーむ NAGASAKI 「春の詩集」

全国生涯学習音楽指導員協議会北海道支部 「北の大地と空の物語」

邦楽 MusicAid 委嘱「光咲む刻」を演奏する会 「光咲む刻」

13:03 休憩

13:23 長崎市三曲協会 「六段の調」(藤本昭子 三弦)

特別演奏/井関一博、丸田美紀 「百花譜」

邦楽合奏団”韻” 「風姿花伝」

竹つれづれ 「翠嵐」

14:22 休憩

14:42 合同演奏 「ステラオブあかね.M.エンジェル」

特別演奏／藤本昭子、奥田雅楽之一、藤原道山 「尾上の松」

箏曲 正絃社 「回転木馬」

こと NEW あんさんぶる 「龍星群」

15:51 閉会挨拶

15:58 合同演奏 「響鐘－長崎被爆 80 年によせて－」

10月6日(月) 邦楽ツアー

10:00～13:00

松壽軒跡→黄檗宗興福寺→片足鳥居→山王神社→浦上天主堂

ガイド：高橋崎山、田中隆文

演奏：松林静風、高橋崎山、神永大輔

5 出演団体

琴の音会、千葉県三曲協会、和楽器オーケストラ邦楽合奏団「鼎」、全国生涯学習音楽指導員協議会北海道支部、邦楽 MusicAid 委嘱「光咲む刻」を演奏する会、長崎市三曲協会、邦楽合奏団「韻」、竹つれづれ、箏曲 正絃社、こと NEW あんさんぶる
千葉県三曲協会

6 特別出演者

奥田雅楽之一、川村葵山、藤本昭子、井関一博、丸田美紀、前田智子、藤原道山、石川憲弘、鹿野竜靖、ちーむ NAGASAKI（長崎県立佐世保南高校邦楽部、長崎県立佐世保北高校邦楽部、鎮西学院高校箏曲同好会、長崎県立佐世保北中学校邦楽部、長崎県立大学シーボルト校邦楽部）

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
818 人	130 人	271 人	23 団体	946 人	2,165 人

8 準備経過

出演者公募 令和 7 年 1 月～2 月

出演者選定 令和 7 年 3 月～4 月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、特定非営利活動法人全国邦楽合奏協会

■全国邦楽合奏コンサート



■ワークショップ



■展示



■邦楽ツアー



長崎の教会で歌おう「祈りの合唱の祭典」

1 開催日時

令和7年10月12日(日) 14:00~17:35

令和7年10月13日(月・祝) 13:00~17:10

2 開催会場

カトリック浦上教会

3 概要

被爆瓦解から復活した浦上天主堂を舞台として、日常や音楽を取り戻した今日に、鎮魂の思いで歌うことで、世界が平和になってほしいという願いをこめ「祈りの合唱の祭典」を実施しました。

長崎をはじめ全国からの合唱団、地元小学生、中学生、高校生、おかあさんコーラスの合同合唱や浦上天主堂のパイプオルガンの演奏と合わせた全体合唱を行いました。幅広い世代の平和への思いが1つのハーモニーとなり、長崎の空に響き渡った祭典となりました。

4 プログラム

10月12日(日)

- 14:00 開会
- 14:05 小学生合同合唱団
- 14:30 中学生合同合唱団
- 14:55 Combinir di Corista
- 14:55 公開リハーサル
- 15:30 本番演奏
- 15:50 休憩
- 16:10 九州文化学園高校コーラス部
- 16:30 大分市民合唱団ウイステリア・コール
- 16:55 女声合唱団 悠
- 17:20 長崎県合唱連盟公募合唱団
- 17:35 閉会

10月13日(月・祝)

- 13:00 開会
- 13:05 高等学校合同合唱団
- 13:25 長崎アカデミー男声合唱団
- 13:50 十八親和銀行混声合唱団
- 14:10 MODOKI



- 14：10 公開リハーサル
- 14：45 本番演奏
- 15：05 休憩
- 15：25 女声合唱団ソレイユ
- 15：50 JOY
- 16：10 合唱団「翔」
- 16：30 長崎県おかあさんコーラス連盟合同合唱団
- 16：55 長崎県合唱連盟公募合唱団
- 17：10 閉会

6 出演団体

小学生合同合唱団（長崎大学教育学部附属小学校合唱団、長崎市立桜町小学校コーラス部、長崎市立滑石小学校合唱部、長崎市立矢上小学校合唱団、大村市立旭が丘小学校合唱クラブ、NHK長崎児童合唱団）、中学生合同合唱団（長崎大学教育学部附属中学校合唱団、長崎市立岩屋中学校合唱部、長崎市立東長崎中学校音楽部、諫早市立諫早中学校合唱部）、Combinir di Corista、九州文化学園高校コーラス部、大分市民合唱団ウイステリア・コール、女声合唱団 悠、長崎県合唱連盟公募合唱団（イトウ・キネン・シンガーズ、合唱団よりより、コール・アザレア、さくらコーラス、十八親和銀行混声合唱団、長与プラム混声合唱団、長崎大学教育学部附属中学校、ふたば女声合唱団、ムジカ チェレステ、長崎室内合唱団、長崎市立矢上小学校、長崎アカデミー男声合唱団、長崎混声合唱団）、高等学校合同合唱団（長崎県立諫早高等学校コーラス部、長崎県立大村高等学校コーラス部、長崎県立島原高等学校合唱部）、長崎アカデミー男声合唱団、十八親和銀行混声合唱団、MODOKI、女声合唱団ソレイユ、JOY、合唱団「翔」、長崎県おかあさんコーラス連盟合同合唱団（ふたば女声合唱団、パープルエコー、日見マードレ・コール、コール・アザレア、ハッピートーク、ピアチェーレ、ヴィーニユドウ活水、ベイリーフハーモニー、コラーレ木風、コール・アルパ、サフラン、リリック・アンサンブル、コロあやめ、大村カトレアコーラス、ダ・カーポ、さくらコーラス、コール・メール）

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
2,547人	43人	18人	15団体	918人	3,526人

8 準備経過

出演者調整 令和6年12月～令和7年9月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、一般社団法人全日本合唱連盟、長崎県合唱連盟

川柳の祭典

1 開催日時

令和7年11月2日(日) 9:30~16:15

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場

3 概要

全国から広く川柳の作品を募集し、歴史と文化、そして平和の街長崎市で、多くの方に座の文芸である川柳を楽しんでいただきました。また、愛好家同士の交流や参加者の川柳の知識を深め、更なる技術の向上を目指しました。

5月1日~7月31日までに投句された事前投句では「異なる」「出る」「柔らかい」「メガネ」をお題に、1,245名計9,900句の作品を、また大会当日に投句された当日投句では「音楽」「ミックス」「黄色い」をお題に、197名計1,182句の作品をそれぞれいただきました。

また、公益財団法人長崎平和推進協会 継承部会員・三瀬清一郎氏による記念講演「川柳で綴る8月9日の記憶」を行い、講師の被爆体験と過去の作品紹介から、川柳を通じた平和への思いを伝えました。

4 プログラム

- 9:30~11:30 当日投句
- 12:35~12:45 後催県（高知県）挨拶
- 12:45~13:15 開会式
- 13:20~14:05 記念講演
- 14:15~15:40 事前投句披講、当日投句披講
- 15:40~16:00 表彰式
- 16:00~16:15 閉会式・記念写真撮影

5 表彰

- 文部科学大臣賞／梅崎流青（福岡県）
- 国民文化祭実行委員会会長賞／松尾貴子（長崎県）
- 長崎県知事賞／真島久美子（佐賀県）
- 長崎県議会議長賞／安部美葉（兵庫県）
- 長崎県教育長賞／上村脩（東京都）
- 長崎市長賞／齊藤一輪（秋田県）
- 長崎市議会議長賞／澤田幸代（秋田県）
- 長崎市教育長賞／金城幸鷹（沖縄県）
- 一般社団法人全日本川柳協会理事長賞／横村華乱（福島県）
- 長崎県川柳協会会長賞／徳丸浩二（熊本県）

6 審査員

(事前投句の部) 岡崎守、中武弓、富田末男、井上万歩

(当日投句の部) 矢沢和女、島田駱舟、大西泰世

(第二次選者) 江畑哲男、荒川佳洋、古谷龍太郎、土橋旗一、西恵美子

7 来場者数等 (延べ人数)

来場者・観覧者	スタッフ	出展者	出展作品	計
236人	72人	1,442人	11,082点	1,750人

8 準備経過

作品募集 令和7年5月～7月

作品審査 令和7年8月～9月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、一般社団法人全日本川柳協会、長崎県川柳協会

■当日投句



■記念講演



■披講



■表彰式・記念写真撮影



小倉百人一首競技かるた全国大会

1 開催日時

令和7年11月2日(日) 9:20~18:00

令和7年11月3日(月・祝) 8:40~17:00

2 開催会場

長崎県立総合体育館 メインアリーナ

3 概要

競技かるたは、藤原定家が選んだ「小倉百人一首」の上の句を聞いて、下の句が書かれた札を相手より早く取ることを競い合います。本大会は、1チーム5名（最大8名登録）による団体戦形式で、国内45チーム、海外2チーム、合計47チーム総勢350名が2日間にわたり熱戦が繰り広げました。和装での出場が定められており、色鮮やかな着物姿の選手達が一斉に札を払う瞬間は圧巻でした。

初日は3~4チームを1組とした13組による予選リーグ、2日目は予選リーグの上位16チームによる決勝トーナメントで優勝を争いました。

決勝戦は栃木県と愛知県が対戦し、栃木県が4勝1敗で初優勝を果たしました。

また、千羽鶴企画として、選手、スタッフ及び来場者に折り鶴を折っていただき、約1,500羽を平和公園へ奉納し、平和への願いを発信しました。

4 プログラム

11月2日(日)

9:20 開会式

10:00 予選リーグ1回戦

12:30 予選リーグ2回戦

14:30 予選リーグ3回戦

17:00 予選リーグ閉会式（結果発表、決勝トーナメント抽選）

19:00 交流会

11月3日(月・祝)

8:40 決勝トーナメント1回戦

10:30 決勝トーナメント2回戦

12:30 準決勝戦

14:00 決勝戦・3位決定戦

16:00 閉会式（表彰式）

5 表彰

文部科学大臣賞（1位）／栃木県

国民文化祭実行委員会会長賞（2位）／愛知県

長崎県知事賞（3位）／神奈川県

長崎市長賞（4位）／茨城県

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出場団体	出場者	計
606人	211人	105人	63団体	478人	1,400人

7 準備経過

出場者公募 令和7年1月～3月

チラシ作成 令和6年12月～令和7年1月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、一般社団法人全日本かるた協会、長崎県かるた協会



大正琴の祭典

1 開催日時

令和7年11月9日(日) 9:30~16:30

2 開催会場

長崎市民会館 文化ホール

3 概要

全国各地から大正琴愛好家が集い、「令和7年全国子供大正琴コンクール」の最終選考会である「子供の部」と「一般の部」の2部構成で開催しました。

「全国子供大正琴コンクール」では、ソロ部門とアンサンブル部門をそれぞれ年齢によって区分した4部門にて審査を行い、今回は41団体190名の応募の中から一次選考会の上位者16団体94名が最終選考会に出演しました。コンクールに向けて練習を重ねてきた成果が存分に発揮され、来場者の心に響く演奏会となりました。演奏技法の向上を多くの方々に認識していただくことができ、次世代への大正琴音楽文化の継承に繋がりました。

「一般の部」では、長崎県内をはじめ全国の幅広い年齢層の愛好者22団体482名が、多彩なジャンルのアンサンブル演奏を披露し、地域・世代を超えた交流を深めることができました。

4 プログラム

9:30 開場

10:00 開会（主催挨拶、審査員紹介）

10:15 子供大正琴コンクール

12:13 一般の部演奏

12:53 子供大正琴コンクール 審査結果発表・講評

13:13 一般の部演奏

16:30 閉会

5 表彰

文部科学大臣賞

- ・ソロ部門A（12歳以下）／杉野心咲（三重県）
- ・ソロ部門B（12歳を超える）／吉富心音（三重県）
- ・アンサンブル部門A（平均年齢12歳以下）／和心会ジュニア（愛知県）
- ・アンサンブル部門B（平均年齢12歳を超える）／
大正琴アンサンブルことふれんどジュニアアンサンブル（静岡県）

6 審査員

金子 敦子（名古屋芸術大学 元教授）

岩瀬 洋子（音楽教育家）

遠藤 茂雄（幼児音楽指導研究会 会長）

北林 篤（公益社団法人大正琴協会 理事長）

鈴木 禮子（公益社団法人大正琴協会 副理事長）

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	計
200 人	93 人	53 団体	789 人	1,082 人

8 準備経過

出演者公募（一般の部） 令和7年2月～3月

出演者公募（子供の部） 令和7年3月～7月

一次選考会（子供の部） 令和7年7月30日

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、公益社団法人大正琴協会



全日本健康マージャン交流大会

1 開催日時

令和7年11月15日(土) 10:00~15:50

令和7年11月16日(日) 9:30~16:10

2 開催会場

出島メッセ長崎 コンベンションホール

3 概要

全国各地の予選を勝ち上がった9歳から95歳までの健康マージャン愛好者400名に有名プロ雀士8名(ゲスト)が加わり、腕を競い合う交流大会を開催しました。大会は、会場内を長崎にちなみ、ランタン、ビードロ、バラモン、ベッ甲の4つのゾーンに分け、1日目はペア戦を、2日目は個人戦を行いました。それぞれ対局時間は50分の半荘戦で、対局者を組み替えながら4ゲームずつ行い、成績優秀者として、ペア戦1~8位、個人戦1~8位、2日間の総合成績による総合1~4位までを表彰しました。北は北海道、南は沖縄県まで全国各地から集まった選手同士の対局では、対局の前後に世代を超えて和やかに談笑するなど、地域や世代そして障害の有無に関わらず交流を深めることができました。また会場では、個人戦及びペア戦のほかに有名プロ雀士による「ふれあい対局コーナー」を設け、一般来場者との交流と健康マージャンの技量の研鑽を図りました。会場内にマージャンの歴史と文化を伝える展示コーナーも設け、現在に至るまでの国内外の普及の歴史や活動状況などをパネルで紹介するなど、健康マージャンの魅力を全国に発信しました。

4 プログラム

11月15日(土)

8:30 受付

10:00 開会式

10:50 ペア戦1回戦

12:00 ペア戦2回戦

12:55 昼食

13:50 ペア戦3回戦

15:00 ペア戦4回戦

11月16日(日)

8:30 受付

9:30 ペア戦表彰式

10:00 個人戦1回戦

11:10 個人戦2回戦

12:05 昼食

- 13：00 個人戦3回戦
- 14：10 個人戦4回戦
- 15：10 アトラクション
- 15：40 個人戦表彰式、終了式

ふれあい対局（ゲストプロ雀士との交流会）

11月15日(土)

- 10：50 1回戦
- 12：00 2回戦
- 13：50 3回戦
- 15：00 4回戦

11月16日(日)

- 10：00 1回戦
- 11：10 2回戦
- 13：00 3回戦
- 14：10 4回戦

5 表彰

- 文部科学大臣賞（個人総合1位）／安里静竜（沖縄県）
 - 国民文化祭実行委員会会長賞（個人総合2位）／長野隼也（沖縄県）
 - 長崎県知事賞（個人総合3位）／浜崎真伍（広島県）
 - 長崎県知事賞（個人戦1位）／魚野宰弘（徳島県）
 - 長崎県議会議長賞（個人戦2位）／小山葵（大阪府）
 - 長崎県教育長賞（個人戦3位）／橋本浜子（北海道）
 - 長崎市長賞（個人総合4位）／斎藤典子（宮城県）
 - 長崎市長賞（ペア戦1位）／長野隼也・吉田育朗（沖縄県）
 - 長崎市長賞（最高齢）／藤本進（大阪府）
 - 長崎市長賞（最年少）／横内葵羽・横内茜帆（東京都）
 - 長崎市議会議長賞（ペア戦2位）／澤田陽司・鈴木雅也（愛知県）
 - 長崎市教育長賞（ペア戦3位）／浜崎真伍・浜崎ひなた（広島県）
- ※個人総合は個人戦とペア戦の合計得点による

6 ゲストプロ・招待プロ等

ゲストプロ

- 鈴木大介（日本プロ麻雀連盟 BEAST X 所属）
- 東城りお（日本プロ麻雀連盟 BEAST X 所属）

招待プロ

- 森山茂和（日本プロ麻雀連盟 会長）

加藤哲郎（日本プロ麻雀連盟 大会スペシャルサポーター）

篠原冴美（日本プロ麻雀連盟）

村上淳（最高位戦日本プロ麻雀協会）

丸山奏子（最高位戦日本プロ麻雀協会）

小林剛（麻将連合 U-NEXT Pirets）

河野高志（RMU）

松ヶ瀬隆弥（RMU EX 風林火山）

大会アンバサダー

松田麻矢（日本プロ麻雀協会）

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出場団体	出場者	計
327人	136人	54人	137団体	1,256人	1,773人

8 準備経過

出場者公募 令和7年1月～2月

チラシ作成 令和7年6月～7月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、一般社団法人全国麻雀段位審査会、一般社団法人日本健康麻将協会、一般社団法人日本スポーツ麻雀協会



いけばなの祭典～いける・いかす・いきる～

1 開催日時

令和7年11月22日(土) 9:45～17:00

令和7年11月23日(日・祝) 10:00～17:00

令和7年11月24日(月・振) 10:00～16:00

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場、ラウンジ、ギャラリー、エントランスホール

3 概要

会場の1階から3階までを花展会場に使用し、1階は県内団体の合作作品、2階は個人作品や壁作品、3階は小作品や子どもの作品、日本を代表する華道家の作品を展示することで、各フロアの魅力を十分に引き出した会場構成とし、いけばなの愛好家だけでなく他の催しのためにホールに来られた方々にも見ていただくことができました。また、会期前日の公益財団法人日本いけばな芸術協会のいけこみ特別公開には、長崎県内外より多くの方々が見学に来られ大盛況でした。

子どもたちの作品を展示した「未来へつなぐいけばな」のコーナーでは、連日多くの笑顔溢れる見学者でいっぱいになるなど、100点を超える様々な作品で会場を彩り、多くの来場者にいけばなに触れて楽しんでいただくことができました。

4 プログラム

11月22日(土)

9:45～09:50 開会式

10:00～17:00 作品展示

13:00～ いけばなワークショップ

15:00～ いけばなワークショップ

いけばなワークショップ (対象:小学生以上)

参加者:40人 (うち、6作品展示)

11月23日(日・祝)

10:00～17:00 作品展示

11月24日(月・振)

10:00～16:00 作品展示

※11月21日(金) 13:00～

公益財団法人日本いけばな芸術協会役員によるいけこみの特別公開

5 出展者

公益財団法人日本いけばな芸術協会

相談役 大津光章 (都未生流家元)

- 理事長 矢上哲己（池坊理事）
- 副理事長 小原宏貴（小原流家元）
- 評議員 片山紅早（草月流本部講師）
- 常任理事 肥原慶甫（未生流家元）

長崎いけばな連盟

小原流長崎支部、草月流長崎、大和流大和会、龍生派長崎県支部

諫早いけばな連盟

小原流、花芸安達流、華道家元池坊諫早支部、草月流諫早、未生流
華道家元池坊長崎支部
草月流佐世保

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出展者	出展作品	計
5,855 人	276 人	61 人	140 人	100 点	6,332 人

7 準備経過

ワークショップ参加者募集 令和7年9月～11月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎いけばな連盟、NPO法人長崎国際文化協会

9 共催

公益財団法人日本いけばな芸術協会

■作品展示



■ 作品展示



■ ワークショップ



地域文化発信事業

ながさき流鏝馬まつり in 長崎

1 開催日時

令和7年9月14日(日) 10:00~15:30

2 開催会場

県庁舎跡地

3 概要

長崎市の県庁舎跡地を舞台に長崎の伝統文化である「長崎くんち」で奉納される『流鏝馬』の披露と、令和7年の長崎くんちで踊町として奉納踊りを行う各町が場所踏み（稽古）として演し物を披露しました。流鏝馬や奉納踊りは本来長崎の街と人々の繁栄や安泰を祈願する行事で、ながさきピース文化祭2025初日を飾る事業として、本文化祭の無事開催への願いも込めました。流鏝馬には5頭の馬たちが参加し、元競走馬でディープインパクトを父に持つレッドジェネシス号も本事業で流鏝馬デビューとなりました。

また、見るだけでなく来場者も子どもから大人まで多くの方が流鏝馬体験に参加し、優しい馬に揺られながら皆さん見事に命中させていました。そのほか子どもたちで大盛況のシャボン玉ショーや長崎市内事業者による出店などで会場は大いに賑わいました。

4 プログラム

- 10:00 開式、流鏝馬披露
- 11:00 榎津町場所踏み
- 12:00 賑町場所踏み
- 12:30 流鏝馬披露
- 13:00 新大工町場所踏み、流鏝馬体験開始
- 14:00 シャボン玉ショー
- 15:00 西古川町場所踏み

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
1,270人	86人	110人	9団体	696人	2,162人

6 準備経過

出演者調整 令和7年1月~7月

7 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、ながさき流鏝馬まつり実行委員会

■開式



■流鏝馬披露



■流鏝馬体験



恐竜今昔物語～長崎における化石研究の軌跡～

1 開催期間

令和7年10月4日(土)～令和7年10月31日(金)

2 開催会場

ベネックス恐竜博物館 企画展示室

3 概要

長崎半島から多数発見されている多種多様な化石や恐竜博物館の活動について知っていただくことを目的に、展覧会を開催しました。

展示順路の前半では、研究成果の理解を深めていただくため、化石に含まれている様々な情報（古環境や食性等）の見方を、関連する標本を用いて紹介しました。順路後半では、長崎市が行っている調査研究の成果を伝えるとともに、大型スクリーンに投影した国際交流及び研究成果に関する映像、パズルや紙製のミニジオラマ等を用いたハンズオン展示等、子どもから大人まで楽しみながら学習できる内容としました。また、来場者が思い出として持ち帰ることができるよう会場での写真撮影を可能とし、フォトスポットも設置しました。展覧会の会場には段差を設けず、化石を間近で観察できるように配置し、解説パネルや映像に日本語と英語を併記すること等によって、子どもや車いす利用者、海外からの来場者等、多様な来場者が利用しやすく、誰もが楽しく学習できる環境づくりにも努めました。

4 展示内容

- ・ティラノサウルスや鎧竜の歯など、長崎市で発見された恐竜化石のレプリカ展示による調査研究成果の紹介
- ・アンモナイトや三葉虫など、収蔵庫に保管された化石やレプリカ展示による化石のミカタ、調査研究成果の紹介

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	計
6,190 人	132 人	6,322 人

6 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎市教育委員会



歴史、文化、進化を感じるまちあるき×ながさきピース文化祭 2025

1 開催期間

令和7年9月14日(日)～令和7年11月30日(日)

2 開催会場

長崎市内

3 概要

長崎市には観光や歴史的スポットが数多く存在し、それらを巡るまちあるきが文化として育まれてきた背景から、ながさきピース文化祭 2025 開催を機に、それらのスポットを一連のストーリー仕立てでまちあるきルートを作成し紹介しました。

ルートは全部で6種類あり、100年に一度のまちづくりが進み、まちの進化が感じられる長崎駅周辺、様々な異国の文化を取り入れてきた長崎港、出島、長崎居留地など、歩いてみると時代ごとの歴史が感じられる道程で、長崎市民にとってはいつも見慣れた風景の中に、観光等で初めて訪れる方には長崎市のまちの魅力の中に、まちの文化や歴史が様々な要素が交差して育まれてきたことを感じていただく機会となりました。

長崎市内の公共施設や観光施設等でオリジナルマップを配布するとともに、『Pokémon GO』の長崎市公式ルートとしても登録しています。

4 まちあるきルート

・長崎・異国情緒の坂道散歩

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館から祈念坂で折り返す、坂のまち・長崎らしい道。この一帯にはかつて外国人居留地が置かれていて、現在も異国情緒あふれる町並みが楽しめます。幕末から明治期、かつて日本を訪れた外国人たちの暮らしに思いを馳せて。

・長崎の今とこれからを歩く道

出島メッセ長崎から2024年開業の長崎スタジアムシティへ。「100年に一度の進化」が進む長崎の注目エリアを歩くことで、未来への躍動が感じられます。周辺には「ながさき未来応援ポケモン」デンリュウのスポットもあります。

・今も息づく長崎のくらしと風景の道

長崎歴史文化博物館から眼鏡橋を目指すルート。町の整備とともに形成された歴史を持ち、今なお人々の暮らしを感じさせる一帯です。「お諏訪さん」の呼び名で親しまれる「諏訪神社」や、中島川に架かる風情いっぱいの石橋群をめぐるります。

・開港から続く長崎異文化路

鐵橋から長崎市役所へ。1571年の開港で生まれた長崎の町のことや、イエズス会領の時代、江戸時代の中国との貿易、近代化で育まれた印刷技術や土木技術など、400年以上に渡って編まれた「長崎の異文化交流」の軌跡・歴史が感じられます。

・歴史とアートに出会う 水辺の長崎旅

長崎水辺の森公園から始まりアートと歴史散策が楽しめる、海風薫る爽やかなルート。美術館で心を潤し、出島で西洋との海外交流の歴史を学んだら、かつて海に突き出た「長い岬」の先端にあり、長崎発祥の礎となった県庁舎跡地の高台から長崎のまちを眺めてみましょう。

・賑わいの長崎で異国探訪

かつて鎖国政策下の日本の中で、長崎は中国やオランダとの貿易拠点として、多くの人で賑わっていました。中華街すぐそばの湊公園から、出島を横目に長崎港（出島ワープ）を目指すこのコースでは、異国との歴史と今の長崎の賑わう姿も楽しめます。

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	計
25,859 人	131 人	25,990 人

6 準備経過

ルート作成 令和7年2月～6月

マップ制作 令和7年6月～9月

7 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会

■オリジナルマップ



～長崎居留地 合唱とオペラの丘プロジェクト～

合唱 オペラ「愛の妙薬」

1 開催日時

長崎居留地音楽祭 令和7年 9月20日(土) 10:00～
9月21日(日) 18:30～
オペラ「愛の妙薬」 令和7年 10月26日(日) 14:00～

2 開催会場

長崎居留地音楽祭 長崎居留地
オペラ「愛の妙薬」 ベネックス長崎ブリックホール

3 概要

居留地音楽祭では、長崎居留地エリアでグラバー園や国宝大浦天主堂、日本基督教団長崎教会等の文化財や施設等を舞台に、合唱やオペラをはじめ様々な音楽を通して地域の歴史や文化の魅力、まちづくりの活動を紹介しました。

また、オペラ「愛の妙薬」では、長崎居留地合唱団を中心に、公募で参加いただいた方も含む合唱団が、プロの音楽家との共演により、初めてイタリア語でのオペラ全幕公演を行いました。世代やプロ・アマチュアを超えた交流により公演を作り上げ、多くの御来場の皆様に本格オペラをお楽しみいただきました。

4 プログラム

長崎居留地音楽祭

9月20日(土)

10:00～ グラバー顕彰式 ※その他は雨天中止

9月21日(日)

18:30～ アリアの夕べ

オペラ「愛の妙薬」

10月26日(日)

13:00 開場

14:00 開演

作曲：Gドニゼッティ

演出：馬場紀碧

5 出演団体、出演者

長崎居留地音楽祭

長崎居留地合唱団（長崎居留地男声合唱団、長崎居留地女声合唱団オルテンシア、長崎居留地キッズコーラス、Art de Vivre）

オペラ「愛の妙薬」

指揮：竹内聡

アディーナ：原さとみ、ネモリーノ：岡坂弘毅、ベルコーレ：鶴川勝也、

ドゥルカマーラ：安東玄人、ジャンネッタ：川上真澄

合唱：長崎居留地合唱団（長崎居留地男声合唱団、長崎居留地女声合唱団オルテンシア、
長崎居留地キッズコーラス）、稲城市民オペラ（有志）、公募参加者

管弦楽：Stru-musica シンフォニエッタ

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演者	計
2,437 人	220 人	122 人	1,868 人	4,647 人

7 準備経過

参加者募集 令和7年2月～5月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎居留地合唱とオペラの丘プロジェクト実行委員会

■長崎居留地音楽祭



※天主堂内の撮影は、特別な許可を得て撮影しています

■オペラ「愛の妙薬」





長崎国際音楽フェスティバル 2025

1 開催日時

令和7年9月20日(土) 13:00~17:30

令和7年9月21日(日) 13:00~17:30

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 大ホール

3 概要

県内外の中学校や高校の吹奏楽部やコーラスグループとプロのヴァイオリニストが集い、吹奏楽演奏、合唱、ソロ演奏など60曲を超える楽曲を披露しました。

2日間合わせて1,100名を超える来場者が訪れ、若き出演者の笑顔と演奏に元気と感動をもらい、プロヴァイオリニスト石川綾子氏の世界レベルの音色に魅了されました。音楽を通じて、地域や世代を超え、友好・交流の輪を広げることにより「戦争や紛争のない平和な世界」の尊さを実感する2日間となりました

4 プログラム

9月20日(土)

12:00 開場

13:00 主催者挨拶、ファンファーレ

13:10 活水中学校・高等学校

13:35 雲仙市立小浜中学校

14:00 九州文化学園高等学校

14:30 鹿児島高等学校

15:10 鎮西学院高等学校

15:35 神村学園中部・高等部

16:15 石川綾子

16:55 フィナーレ

9月21日(日)

12:00 開場

13:00 主催者挨拶、ファンファーレ

13:10 活水中学校・高等学校

13:35 長崎日本大学高等学校・中学校

14:00 創成館高等学校

14:30 九州産業大学附属九州産業高等学校

15:05 西日本短期大学附属高等学校

15:40 精華女子高等学校

16:20 石川綾子

17:00 フィナーレ

5 出演団体

活水中学高等学校、雲仙市立小浜中学校、九州文化学園高等学校、鹿児島高等学校、鎮西学院高等学校、神村学園中等部高等部、長崎日本大学高等学校・中学校、奥田学園 創成館高等学校、九州産業大学附属九州高等学校、西日本短期大学附属高等学校、精華女子高等学校、合唱団 [橋本剛・安部まりあ・NHK 長崎児童合唱団・ひよこの会童謡合唱団・長崎少年少女合唱団・草野ミュージック]

6 招待出演者

石川綾子（ヴァイオリン演奏）

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
1,103 人	64 人	36 人	15 団体	1,217 人	2,420 人

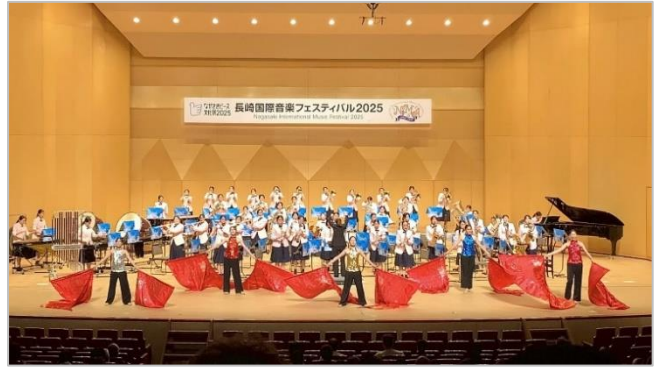
8 準備経過

出演者調整 令和7年1月～7月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、一般社団法人長崎国際音楽交流協会





長崎プッチーニフェスティバル 2025

1 開催日時

令和7年9月27日(土) 11:00~20:00

令和7年9月28日(日) 10:00~19:00

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール

3 概要

「マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎」、「プッチーニおじさんの三都物語～愛の aria～」、「たのシツクフェスティバル」の3事業を、プッチーニフェスティバルとして開催しました。国際コンクールでは、2004年に開始した本コンクールに今回新たに自由参加部門を設け、9年ぶりに開催しました。6つの国と地域から69名がエントリーしました。「プッチーニおじさんの三都物語～愛の aria～」では、子どもたちにも分かりやすくオペラを伝えるコンサートとして、オペラ三都物語をテーマに開催しました。プッチーニが生まれたイタリアからソプラノ歌手をお迎えし、満席の会場が、飯塚励生氏の手際よい演出とともにさながらオペラ劇場になりました。「たのシツクフェスティバル」では楽器体験やミニコンサートに加え、全国で活躍する演出家によるオペラ講座も人気を集め、子どもから大人まで音楽を楽しむことができました。

4 プログラム

マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎

9月27日(土)

11:00 コンクール部門第2次審査

18:30 自由参加部門ステージ演奏

19:15 自由参加部門審査委員長講評

9月28日(日)

15:00 コンクール部門ファイナルコンサート

18:00 コンクール部門ファイナルコンサート審査発表

プッチーニおじさんの三都物語～愛の aria～

9月27日(土)

16:30 開場

17:00 開演

ラ・ボエーム (パリの屋根裏)

マダム・バタフライ (長崎)

トスカ (ローマ)

演出: 飯塚励生

たのシツクフェスティバル

9月27日(土)

11:00~16:30 ヴァイオリンの森、風の森 ~リコーダー~, ピーヒャラ・ドンシャラ プチフェス☆カーニバル、一緒に歌いま「翔」、もりのおんがく会、ビートでジャンプ、音のもりの案内人「ミュージックマン」とあそぼう!、みらいとあそぼう・ロボット・マイ・フレンド、なりきりフォトスタジオ・森の写真館、イタリア・ルッカ展、ピノキオ広場

12:30 開会式

9月28日(日)

10:00~16:30 もりのおんがく会、マンガで楽しむ音楽史、ギターの森、風の森 ~リコーダー~, 音のもりの案内人「ミュージックマン」とあそぼう!、みらいとあそぼう ロボット・マイ・フレンド、なりきりフォトスタジオ・森の写真館、イタリア・ルッカ展、ピノキオ広場
音楽で遊ぼう、ハーモニーの森

13:00~13:40 レオさんのなるほどオペラ塾

5 出演者・出場者

マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎

コンクール部門 31人

吉田明未、ワン・ニンズウ、岸浪愛学、内田稚菜、太田絢子、前田光稀、今野沙知恵、ワン・ユーファン、前川健生、ジャードラ・アブドラライヴァ、シェン・ツイーハン、シャオ・ミンハイ、高木佳央理、今牧香乃、グォ・ジンツェン、ツァン・ツイル、高橋希絵、中島康博、リユー・ユイ、チェン・ユンジュ、ユー・ワンシュアイ、水野智絵、リユー・ユイティン、渡邊仁美、佐藤初音、シュー・ユンペン、谷川聖、田中沙友里、久保智美、斉藤真歩、サオ・シドン

自由参加部門 10人

林雅美、本田ゆりこ、坂上弥佳、小林育代、佐久間智恵、茂あずみ、吉野洋子、平山愛、松崎みか、ウー・ウェンルー

プッチーニおじさんの三都物語~愛のアリア~

プッチーニおじさん:堀江一眞、ミミ:フランチェスカ・マイオンキ、ロドルフォ:岡田尚之、バタフライ:納富景子、ピンカートン:高梨英次郎、シャープレス&スカルピア:町英和、カヴァラドッシ:加々良弦、ピアノ:中村卓士、指揮:尼崎裕子

たのシツクフェスティバル

時津仁美、種口敬明、小川勉、尼崎裕子、合唱団「翔」、吉田峰明、岩崎梓、渡辺想、奥田智恵、村田静菜、中村卓士、長崎大学ロボットサークル、長崎大学写真部、山口修、河

野久寿、やまみちゆか、長崎ハンドベルコミュニティー、飯塚励生、高梨英次郎、町英和、大塚裕子、石尾きらら

6 表彰

マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎

第1位／ジャードラ・アブドラライヴァ (カザフスタン)

第2位／グォ・ジンツェン (中国)

第3位／ワン・ニンズウ (中国)

オーディエンス賞／今野沙知恵 (日本)

7 審査員

マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎

佐藤正浩 (新国立劇場オペラ研修所 所長) ※審査委員長

大村博美 (オペラ歌手)

樋口達哉 (東京藝術大学、武蔵野音楽大学講師)

シム・ソンハック (慶北大学校芸術大学 名誉教授)

チョウ・ジンホァ (上海師範大学音楽学院修士課程指導教官 声楽部主任教授)

カタルド・ルッソ (イタリア・ルッカ ジリオ劇場芸術監督)

8 来場者数等 (延べ人数)

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	出展者	計
2,126 人	92 人	60 人	42 団体	296 人	69 人	2,643 人

9 準備経過

マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎

出場者公募 令和7年3月～5月

一次審査 令和7年6月

チラシ作成 令和7年7月

10 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、ながさき UTAOTO 委員会

■ マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎



■ プッチーニおじさんの三都物語～愛のARIA～



■ たのシックフェスティバル



第 48 回長崎郷土芸能大会（障害者交流事業）

1 開催日時

令和 7 年 9 月 28 日(日) 10:00～

2 開催会場

長崎市民体育館

3 概要

長崎市内の各地域に伝承されてきた郷土芸能を広く公開することにより、郷土の貴重な民俗芸能の保存と継承を図るとともに、伝統文化に対する関心と理解を深めていただくことを目的に、今年で 48 回目となる大会を開催しました。

午前中は、午後からの大会の宣伝として大会に出演する 6 団体が長崎市の繁華街にある浜町アーケードを中心にパレードを行いました。

今大会は、長崎郷土芸能保存協議会加盟の 4 団体に加え、2 つの障害者団体にも出演していただき、どれも好評を博し、「みんなでつなごう長崎の伝統芸能」というサブテーマどおり、老若男女、障害のあるなしにかかわらず、多くの方に郷土芸能を堪能していただくことができました。さらに、歴代大会に出演した 52 団体を写真と説明文で紹介したパネルを玄関前に掲示し、長崎郷土芸能大会の歴史を感じていただきました。

4 プログラム

10:00 パレード（崇福寺→浜町アーケード→観光通り→中通り→市民会館）

12:00 開場

13:00 開会セレモニー

13:25 希望が丘和太鼓部

13:50 蠣道浮立

14:30 間之瀬狂言

15:10 高島鼓響塾（姫大蛇）

15:35 瑞宝太鼓

16:00 十善寺龍踊

5 出演団体

長崎県立希望が丘高等特別支援学校和太鼓部（特別出演）、かき道浮立保存会、間之瀬狂言保存会、高島鼓響塾、瑞宝太鼓（特別出演）、十善寺龍踊会

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	計
1,653 人	103 人	6 団体	445 人	2,201 人

7 準備経過

出演者調整 令和6年12月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎郷土芸能保存協議会



長崎オリジナル刺繍体験

1 開催期間

令和7年9月14日(日)、15日(月・祝)、19日(金)、26日(金)、10月3日(金)、4日(土)、5日(日)、10日(金)、17日(金)、24日(金)、31日(金)、11月7日(金)、8日(土)、9日(日)、14日(金)、21日(金)、28日(金)

各日 10:30~12:00 及び 14:00~15:30

2 開催会場

長崎歴史文化博物館体験工房（立山亭）

3 概要

ながさきピース文化祭 2025 にちなんで、文化祭のロゴマークを刺繍し、その中心にハートの刺繍を入れる体験を実施し、5歳から90歳までの老若男女の方々に刺繍を体験していただきました。ロゴマークとハートの絹糸は糸の太さが違うので、刺繍針も2種類使い分けて体験していただきました。ロゴもハートも各六色の中から自由に選んでいただいたので、バリエーション豊かな刺繍ができました。また、被爆80周年という節目の年でもあったので、完成した作品の刺繍枠に各自平和のメッセージや大切な思いを記入していただき、4枚1組でメッセージボードに貼ることでできあがる大きな一つの紫陽花を制作しました。体験者が増えるごとに紫陽花が完成し、閉会式の会場にオブジェとして展示することができました。そのほか、期間中は体験を行う会場で「長崎刺繍」の作品を展示し、解説も実施しました。長崎には伝統工芸である「長崎刺繍」という刺繍文化が生きづいていてということを知っていただく良い機会となりました。

4 プログラム

10:30~12:00 及び 14:00~15:30 刺繍体験

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	計
122人	68人	190人

6 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、「長崎刺繍」再発見塾



長崎〇〇LOVERS インスタグラム写真投稿キャンペーン

1 開催期間

令和7年9月14日(日)～令和7年10月13日(月・祝)

2 開催会場

Instagram

3 概要

「長崎〇〇LOVERS」とは、〇〇の部分に“スキ”なモノ・コト・バシヨを自由に入れて楽しみ、長崎市民一人一人の“スキ”で長崎市を盛り上げていくという平成29年から始まったプロジェクトです。そして今回ながさきピース文化祭2025とコラボレーションし、長崎〇〇LOVERS公式インスタグラムで「日常の中で見つけた『芸術・アート』」、「身の回りを感じた『ピース（平和）』」、「これからも大切にしていきたい『文化や伝統』」をテーマに写真を募集しました。

各地で撮影された参加者の思い思いの“スキ”が表現された17点の応募があり、そのうち入選作品3点を長崎〇〇LOVERS公式インスタグラムで紹介しました。

このキャンペーンを通じて芸術文化・平和・歴史などの長崎が持つ独自の魅力を感じる、改めて長崎への愛着や誇りを実感していただく機会を創出することができました。

4 プログラム

令和7年9月14日(日)～令和7年10月13日(月) 写真投稿キャンペーン開催

令和7年11月29日(土)～ 投稿写真の紹介

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出展者	出展作品	計
4,776人	44人	8人	17点	4,828人

6 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会



遠藤周作を偲ぶ一日

1 開催日時

令和7年10月11日(土) 10:00~18:45

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 国際会議場

3 概要

作家・遠藤周作の遺徳を偲び、「心の故郷」と呼んだ長崎への思いを、文学と長崎学の両面から紐解き、その精神と文化、功績を次世代へ継承するイベントを開催しました。

幕末から明治初期の長崎を舞台に、時代に翻弄されながらも力強く生きた女性の人生を描いた遠藤周作原作のテレビドラマ「女の一生 キクの場合」上映のほか、「長崎に生きた女性<名もなき人>の肖像」をテーマにトークショーも行いました。ゲストのお話を聞き、港町文化や国際交流の影響を受けながらも家庭や地域で重要な役割を担ってきた女性たちの営みが長崎の歴史や文学を支えてきたこと、長崎の平和と文化の歩みこそが世界に通じる普遍的な価値であり、遠藤周作をはじめ多くのクリエイターを惹きつけてきたことがわかり、改めて長崎の持つ価値を次世代に受け継いでいきたいという思いを一つにしました。合間にはピアノと木管五重奏の生演奏をバックに物語ゆかりの津和野銘菓や遠藤文学モチーフのドリンク片手に、遠藤文学の朗読を聞く演出もあり、参加者にはドラマの余韻に浸りながら物語の情景を五感で体感していただきました。

4 プログラム

9:00 午前の部開場

10:00~11:30 市民開放企画：作品解説、アーカイブ映像上映
古写真パネル展「キクが見たあの日の長崎」

13:00 午後の部開場

13:30~14:00 開会セレモニー

13:35~15:15 上映会①「女の一生 キクの場合（前編）」

15:25~15:55 ラウンジコンサート・朗読

16:00~17:30 上映会②「女の一生 キクの場合（後編）」

18:00~18:35 トークショー「長崎に生きた女性（名もなき人）の肖像」

18:35~18:45 閉会セレモニー、記念撮影

5 出演者・出演団体

宮崎香蓮（俳優）、高浜寛（漫画家）、姫野順一（長崎大学名誉教授）、中村卓士（ピアニスト）、てんとうむし（木管五重奏）

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
311人	21人	12人	2団体	11人	355人

7 準備経過

参加者募集 令和7年9月～10月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会

■市民開放企画



■ラウンジコンサート



■トークショー



中山民俗舞踊研究所全国大会

1 開催日時

令和7年10月12日(日) 11:00~15:30

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 大ホール

3 概要

日本における最大級の民踊団体「中山民俗舞踊研究所（日本民踊中山流）」が、各県で隔年開催している全国大会を17年ぶりに長崎で開催しました。県内の出演者のほか北海道・静岡・広島・九州各県とハワイマウイ島からの出演者総勢376名が、日本の伝統文化である民踊や家元中山義夫氏が振り付けた踊りを披露し、観客を魅了しました。

4 プログラム

10:00 開場

11:00 開会

ふるさと長崎の踊り

黒丸くずし（大村市）、凧あげ音頭～ペーロンばやし～龍踊りばやし～長崎オッペシャン（長崎市）、風は今夜も北々西（佐世保市）、有川鯨踊り～弁財天（新上五島町）、ふるさと島原（島原市）、雲仙ながし踊り（雲仙市）、のんこの節（諫早市）

11:35 主催者挨拶

11:50 中山民俗舞踊研究所各県支部による民踊及び歌謡舞踊

長崎支部：民謡日本、山陽節、伊予万才、長崎の鐘、長崎ぶらぶら節、鳩間節、三原ヤッサ

15:30 終演

5 出演団体

中山民俗舞踊研究所 各県支部、長崎民俗舞踊研究会、佐世保芳久会、諫早民謡舞踊連盟、大村民踊愛好会、島原さつき会、国見むつき会、新上五島民謡舞踊連盟

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
1,708人	56人	6人	8団体	575人	2,345人

7 準備経過

出演者調整 令和7年1月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、中山民俗舞踊研究所



被爆 80 年記念 平和と音楽の調べ

長崎ピース交響詩～音楽が奏でる愛の4楽章～

1 開催日時

令和 7 年 10 月 12 日(日) 15:00～16:30
令和 7 年 10 月 26 日(日) 15:00～16:30
令和 7 年 11 月 2 日(日) 15:00～16:30
令和 7 年 11 月 9 日(日) 15:00～16:30

2 開催会場

長崎原爆資料館ホール

3 概要

音楽を通じて平和を身近に感じてもらうことを目的として、ながさきピース文化祭 2025 開会式の音楽監修を務めた堀内伊吹氏プロデュースのもと、4 楽章（4 回）シリーズの音楽会を開催しました。

第 1 楽章では、ソプラノ歌手や混声合唱団による平和をテーマとした歌の演奏や、平和に関する活動も活発に行っている被爆 3 世のアーティストの音楽ライブを行いました。

第 2 楽章では、声優の特別ゲストを迎え、長崎とベトナムをつないだ荒木宗太郎とアニメーションの愛の音楽物語の公演や、アンサンブルユニットによる演奏を行いました。

第 3 楽章では、現役医師音楽ユニットによる平和を届ける音楽ライブや、被爆体験を語り継ぐ朗読を坂本龍一の音楽の生演奏とともに上演しました。

第 4 楽章では、「第 6 回マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎」において入賞しオーディエンス賞を受賞したソプラノ歌手の今野沙知恵氏をゲストに迎え、オペラのアリア等の演奏をし、最後は、長崎県音楽連盟の演奏会員が集合しグランドフィナーレのコンサートで締めくくりました。

4 プログラム

第 1 楽章：愛と平和を歌で奏でる

14:30 開場

15:00 開演

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 理事長、長崎市長）

合唱、シンガーソングライター上奥まいこコンサート

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 事務局長）

第 2 楽章：長崎の若きアーティストが奏でるピースアンサンブル

14:30 開場

15:00 開演

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 理事長）

音楽ものがたり「アニオー～海を渡る風～」、「ユニット N」スペシャルコンサート

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 事務局長）

第3楽章：言葉と音楽で平和を奏でる

14：30 開場

15：00 開演

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 理事長）

現役医師ミュージシャン「インスハート」ライブ、ピアノ演奏とともに被爆体験を語り継ぐ「永遠の会」による朗読

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 事務局長）

第4楽章：愛と希望を音楽で奏でる フィナーレ

14：30 開場

15：00 開演

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 理事長）

第6回マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎のオーディエンス賞受賞者 今野沙知恵による歌唱、長崎県音楽連盟の演奏会員によるグランド・フィナーレコンサート

主催者挨拶（公益財団法人 長崎平和推進協会 事務局長）

5 出演者・出演団体

第1楽章：愛と平和を歌で奏でる

尼崎裕子、合唱団「翔」、森美春、上奥まいこ、マンボ稲松

第2楽章：長崎の若きアーティストが奏でるピースアンサンブル

堀江一眞、岩田偉、時津仁美、船津杏樹、中村卓士、村田静菜、岩崎梓、村畑幸得、奥田智恵

第3楽章：言葉と音楽で平和を奏でる

インスハート、永遠の会、堀内伊吹、中村卓士

第4楽章：愛と希望を音楽で奏でる フィナーレ

今野沙知恵、尼崎裕子、加々良弦、福地友子、納富景子、合唱団「翔」、中村卓士、時津仁美、村田静菜、村畑幸得、岩崎梓

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演者	計
520 人	40 人	2 人	63 人	625 人

7 準備経過

出演者調整 令和7年5月～9月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、公益財団法人長崎平和推進協会

■第1楽章：愛と平和を歌で奏でる



■第2楽章：長崎の若きアーティストが奏でるピースアンサンブル



■第3楽章：言葉と音楽で平和を奏でる



■第4楽章：愛と希望を音楽で奏でる フィナーレ



世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」登録10周年記念 フォトコンテスト写真展

1 開催期間

令和7年10月14日(火)～令和7年10月31日(金)

2 開催会場

長崎県庁 1階エントランスホール

3 概要

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は全国8県11市に23の構成資産が点在しており、そのうち長崎には8つの構成資産があります。2025年に世界文化遺産登録10周年を迎えたことを記念して、フォトコンテスト写真展を開催しました。

本写真展では、「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会が令和4年、令和5年に実施したフォトコンテストの入賞作品に加え、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」フォトコンテストの入賞作品を展示しました。

長崎に所在する2つの世界遺産を再認識いただくとともに、世界遺産を有する長崎の魅力をより多くの方々に改めて感じていただく機会となりました。

4 プログラム

「明治日本の産業革命遺産」及び「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のフォトコンテストの入賞作品展示

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出展者	出展作品	計
550人	25人	26人	26点	601人

6 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会



被爆 80 年記念 原爆死没者名簿筆耕森田孝子大書道展

1 開催期間

令和 7 年 10 月 18 日(土)～令和 7 年 10 月 26 日(日)

2 開催会場

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ

3 概要

長年、原爆死没者名簿の筆耕に携わる森田孝子氏の書道展を開催し、被爆者の言葉や平和への想いを書にした作品 33 点を展示しました。

展示初日には、書道教室の子ども達が、「いのちの歌」、「千羽鶴」、「手のひらを太陽に」、「空は今」を合唱し、平和を願う美しい歌声が会場に響きました。

この個展を通じて、二度と繰り返してはならない「原爆の惨劇」そして何よりも「何気ない日常の大切さ」を感じとっていただくことで、被爆者の方々の想いを未来に継いでいく必要性を伝えることができました。

そのほか、来場者には森田孝子氏の書を印刷した葉書を贈呈しました。国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館を訪れた海外の方々にも「書」を通じて平和への想いを発信することができました。

4 プログラム

10 月 18 日 (土) オープニング

10:30 開会

主催者挨拶 (公益財団法人長崎平和推進協会 事務局長 中川正仁)

来賓挨拶 (長崎市長 鈴木史朗)

書道家 森田孝子 挨拶

被爆者 城臺美彌子 挨拶

書道教室の子ども達による合唱

「いのちの歌」「千羽鶴」「手のひらを太陽に」「空は今」

5 来場者数等 (延べ人数)

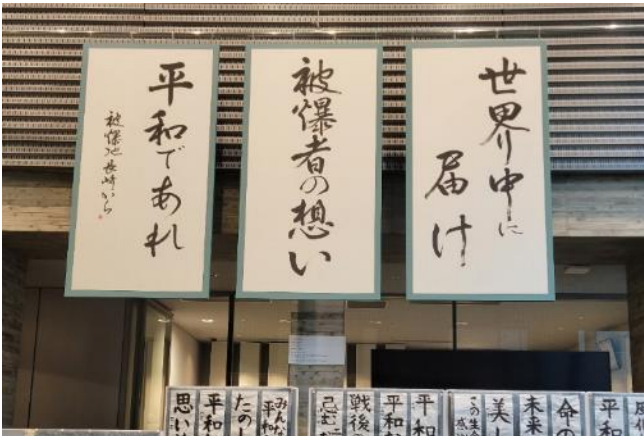
来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
6,145 人	15 人	45 人	1 団体	24 人	6,229 人

6 準備経過

出演者調整 令和 7 年 8 月～9 月

7 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、公益財団法人長崎平和推進協会



第73回長崎市民音楽祭

1 開催日時

令和7年10月19日(日) 10:30~17:00

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 大ホール

3 概要

長崎市内の音楽団体28団体と一般公募の市民が参加し、被爆80周年にあたり平和のメッセージを込めた作品を演奏しました。

混声合唱合同演奏ではベートーヴェン作曲の交響曲第9番「歓喜の歌」を、吹奏楽合同演奏では被爆50周年委嘱作品・交響組曲「鶴の港」を30年ぶりに披露しました。

4 プログラム・出演団体

10:00 開場

10:30 バンビ合奏隊、コーロ・イ・フィオーリ、長崎混声合唱団

11:00 長崎メンネルコール、サフラン、長崎少年少女合唱団、Gifted

11:30 橘混声合唱団、Nagasaki Philharmonic Choir、記念樹

12:00 長崎アカデミー男声合唱団、コーロ♪グレイス、合唱団「ながせん」

12:30 長大附属小育友会コーロ・ソアーヴェ、コーロ・たまなみ、日見マードレ・コーロ、コーロ・アローマ

13:00 長崎市民音楽祭混声合唱団

13:25 休憩

14:00 リバティーベルズ、長崎ハンドベルコミュニティー、アンサンブルアンダンテ

14:30 はまべのウクレレ・サークル、長崎ハーモニカ愛好会、ジュニアオーケストラながさき

15:00 長崎アニママンドリン合奏団、ナガサキ・ウインド・オーケストラ

15:40 桜馬場中学校オーケストラ部、長崎南高等学校吹奏楽部

16:10 長崎市民吹奏楽団

16:30 長崎市民音楽祭合同吹奏楽団

5 来場者数等（延べ人数）

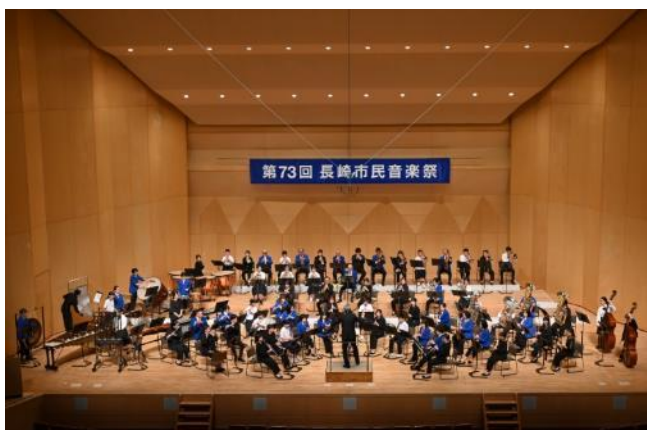
来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	計
713人	86人	49団体	818人	1,617人

6 準備経過

出演者公募 令和7年5月

7 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎市教育委員会、長崎市音楽振興会



被爆 80 年記念 市民のつどい

1 開催日時

令和 7 年 10 月 25 日(土) 10:30~14:00

2 開催会場

長崎原爆資料館前階段下広場、長崎原爆資料館 平和学習室

3 概要

毎年 10 月 24 日からの国連軍縮週間に合わせて行っている、子どもから大人まで「平和」について考えていただくイベントです。エコ風船作り、折り鶴づくり、長崎原爆写真展示、戦時食紹介・試食、缶バッジ作り、健康チェックなどの体験型イベントと併せて、紙芝居や朗読などを行いました。今年は被爆 80 年記念として、二胡演奏やシンガーソングライターによる平和への想いを紡ぐステージなども行いました。

多くの方々に参加していただき、平和意識の高揚と平和への認識を深めるきっかけとなりました。

4 プログラム

10:30~12:30 屋外イベント

エコ風船づくり、折り鶴作り、長崎原爆写真展示、戦時食紹介・試食、缶バッジ作り、健康チェック、ミニコンサート、二胡演奏、平和への想いを紡ぐステージ

12:40~14:00 屋内イベント

チンドン平和紙芝居、平和朗読

5 出演者

上奥まいこ（音楽ステージ）、Sissi-ji（二胡演奏）、
河内隆太郎（チンドン平和紙芝居）、前田真里・三浦蓮月（平和朗読・ピアノ演奏）

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
900 人	98 人	2 人	5 団体	31 人	1,031 人

7 準備経過

出演者調整 令和 7 年 7 月~10 月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、公益財団法人長崎平和推進協会

■屋外イベント



■屋内イベント



長崎市障害者アート作品展（障害者交流事業）

1 開催期間

第1部 令和7年10月16日(木)～令和7年10月19日(日)

第2部 令和7年10月21日(火)～令和7年10月24日(金)

2 開催会場

第1部 長崎県美術館 県民ギャラリーA・B・C

第2部 長崎市役所2階多目的スペース

3 概要

障害のある方の社会参加の場として、また、市民の皆様が障害者のアート作品に触れる機会をつくり、障害に対する理解を深めていただくための作品展を開催しました。長崎県美術館での展示に加え、長崎市役所にて受賞作品の展示と授産製品の販売会を同時開催し、延べ1,573人の方に来場いただきました。

障害のある方々の個性あふれる作品の数々は見る人に新鮮な感動を与え、障害のあるなしに関わらず、すべての人が独自の才能や可能性を持っているということを改めて感じるアート作品展になりました。

4 展示内容

7部門（絵画、工作、手芸・工芸、写真、書道、詩・作文、短歌・俳句・川柳）計522点

※第2部 長崎市役所では佳作を除く入賞作品（計27点）を展示

5 表彰

部門	市長賞	優秀賞	ピース文化祭特別賞
絵画	高木 辰也	あじさいの家「つくる」 吉田 淳一郎 池田 杉男 内田 敏郎 堤 由美子	高齢者元気組
工作	森中 孝行	塚原 耕平 内田 翔	多機能型事業所やがみ
手芸・工芸	希望が丘家庭部	徳永 道子 ハートセンター手工芸室	やまぼうし
写真	中川 靖子	池田 潤子	多機能型事業所やがみ
書道	古賀 静	本多 加代子 杉澤 辰彦	吉岡 伸子
詩・作文	竹村 龍雄	志久 春生	こころ
短歌・俳句・川柳	熊副 春男	—	西村 直子

6 審査員

山口廣利、平山順一郎、山口吟子、浅野類二

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出展者	出展作品	計
1,573 人	71 人	1,134 人	522 点	2,778 人

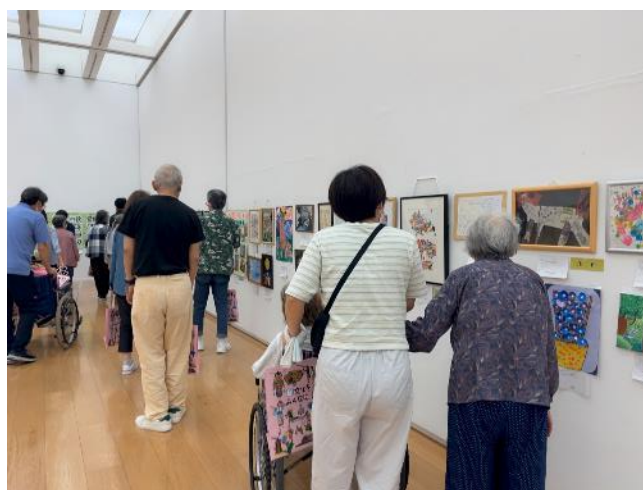
8 準備経過

作品公募 令和 7 年 5 月～6 月

作品審査 令和 7 年 10 月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会



～舞台は長崎～オペラ「蝶々夫人」全幕公演

1 開催日時

令和7年11月1日(土) 18:00～

令和7年11月2日(日) 14:00～

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 大ホール

3 概要

長崎が舞台の世界的名作オペラ「蝶々夫人」の全幕公演を長崎県オペラ協会と長崎交響楽団が合同で開催しました。

主役級の歌手は、1日目は国内外で活躍するプロのオペラ歌手を迎え、2日目は地元長崎県出身または在住の歌手が務めました。また、日本でトップクラスのスタッフも集結し、作品の舞台・長崎での開催に相応しく豪華で素晴らしい舞台となり2日間にわたり多くの観客を魅了しました。

イタリア語での上演でしたが、日本語字幕で物語の内容を分かりやすく伝え、作品の魅力を存分に感じていただくことができました。

両日とも親子ペアを20組ずつ招待し、また、オーケストラや合唱団には高校生や大学生の参加もあり、「蝶々夫人」の音楽をこれからの長崎を担う次世代に継承する機会にもなりました。

4 プログラム

11月1日(土)

17:00 開場

18:00 開演

11月2日(日)

13:00 開場

14:00 開演

作曲：G.プッチーニ 台本：G.ジャコーザ、L.イツリカ

演出：栗國 淳

5 出演者

指揮 星出 豊

管弦楽：長崎交響楽団 合唱：長崎県オペラ協会合唱団

11月1日(土)

蝶々夫人：伊藤 晴、ピンカートン：澤崎一了、シャープレス：岡 昭宏 他

11月2日(日)

蝶々夫人：二枝由衣、ピンカートン：林 寿宣、シャープレス：大石洋史 他

6 来場者数等(延べ人数)

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演者	計
2,462人	624人	50人	2,159人	5,295人

7 準備経過

出演者公募 令和7年5月～8月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎県オペラ協会、長崎交響楽団



市民参加舞台「或る長崎の灯り～三つの小作品～」

1 開催日時

令和7年11月8日(土) 19:00～

令和7年11月9日(日) 11:00～、15:00～

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 大ホール

3 概要

平成10年の長崎ブリックホール開館とともに始まった市民参加舞台。約4年ぶりとなる本公演は、令和6年度に実施した戯曲（演劇の台本）講座で生まれた長崎にまつわるお話を3作品上演しました。演劇経験の有無は関係なくオーディションにより選ばれた出演者たちの好演により、観客を作品の世界観に引き込み、演劇の魅力を改めて感じていただくことができました。

4 プログラム

総合演出 福田修志（F's Company 代表）

ちゃばんちゃばん

作者／上田さとし

演出／田中俊亮（Stereo ArT 代表）

出演・演奏／峯苦泉水、松本りいな、KANAME、住屋垂由美、田代知二、市川整一、藤本祐一朗、たき（三味線／長崎あざみ落語会）

スナック・地藏

作者／ちえ

演出／荒木宏志（劇団ヒロシ軍座長）

出演・演奏／巨瀬真唯子、西川陽菜華、内田麟太郎、山崎夏希、みぞかわなおこ、則行裕貴、福田将之（ウッドベース）

こぞうのおつかい

作者／ふくだこう

演出／川内清通（RAWWORKS 代表）

出演・演奏／横尾聡、白浜大翔、しいな、荒井駿、松本素子、佐藤友香、高木睦美（篠笛／西方小天鼓）

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演者	計
465人	206人	15人	143人	829人

6 準備経過

戯曲講座 令和6年7月～令和7年1月（全12回）

出演者公募 令和7年2月

出演者オーディション 令和7年3月

7 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会



遠藤周作と小説「沈黙」の舞台をめぐるバスツアー

1 開催日時

令和7年11月15日(土) 10:30~18:15

2 開催会場

長崎市、外海地区一円

3 概要

作家・遠藤周作（1923～1996）の代表作『沈黙』でクリスチアの村として描かれる「トモギ村」のモデルになった長崎市外海地区。遠藤周作が訪れた取材地や小説『沈黙』の世界を想起させる場所、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に含まれる出津・大野集落などを、遠藤周作文学館学芸員の案内でめぐるバスツアーを実施しました。

コースでは全国でも珍しい潜伏キリシタンを祀った枯松神社やバスチャン屋敷跡などの潜伏キリシタンに所縁の場所のほか、明治期に外海を宣教したド・ロ神父（フランス出身）が山中に開墾した大平作業所跡など、人里離れた場所を訪れるためにマイクロバスでの催行とし、全国から定員20名をはるかに超える申込みがありました。

参加者はツアーを通して、遠藤周作の文学とともに、外海地区特有のキリスト教の歴史文化に触れ、小説『沈黙』の世界に没入する時間となりました。

長崎でも屈指の夕陽の名所に位置する遠藤周作文学館では、その頃見ごろを迎えていた遠藤周作が愛した花であるコスモスが咲き誇り、参加者は遠藤周作が「神様が僕のためにとっておいてくれた場所」と愛した雄大な角力灘とコスモスが織りなす風景を堪能しました。

4 コース

長崎駅⇒枯松神社⇒黒崎教会堂⇒道の駅夕陽が丘そとめ（休憩）、遠藤周作文学館（見学）⇒沈黙の碑⇒外海歴史民俗資料館⇒ド・ロ神父記念館、旧出津救助院⇒出津教会堂⇒バスチャン屋敷跡⇒大平作業所跡⇒大野教会堂⇒遠藤周作文学館⇒長崎駅

5 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	計
19人	6人	25人

6 準備経過

参加者募集 令和7年8月～10月

7 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会



レッツ・インジョイ！みんなで「音」フェス ～観て、聞いて、参加して、1日まるごと音楽三昧～

1 開催日時

令和7年11月15日(土) 18:00～20:30

令和7年11月16日(日) 10:00～17:00

2 開催会場

長崎市チトセピアホール、長崎市北公民館

3 概要

幼児から大人の方まで、幅広い年齢の方々に参加していただいた体験型の音楽イベントで、さまざまな「音楽遊び」があり、1日中「音楽」を体験し、皆さん自由に楽しんでいただきました。

楽器体験やミニコンサート、美術とのコラボレーションのほか、「いっしょに曲を作ろう」の講座では、参加した子ども達による即興ミュージカルが誕生し、テーマソングの「希望の灯をたやすまじ」の大合唱で締めくくった、一人一人の感性と個性が光る音楽フェスティバルとなりました。

4 プログラム

11月15日(土) 前夜祭

講師紹介、公開リハーサル

11月16日(日)

チトセピアホール会場

10:00 オープニング 「音」フェスファンファーレ

10:20 ひとみおねえさんの胸キュン！ヴァイオリン講座

11:00 河野久寿先生の長崎のわらべ歌、子守歌を楽しもう！

11:40 ヒロさんのハッピービート！パーカッション講座

12:20 いっしょにピアノ、音楽マラソンコンサート

13:10 ほりピーのドレミ♪カーニバル！

13:50 〈おんぷのあかり〉セレモニー

14:00 アンサンブルでたのしむジブリの世界

14:50 キン・コン・カーン 天使の響き ハンドベル講座

15:30 橋本剛先生のピースで1曲！いっしょに曲をつくろう！

16:30 未来へつなぐ「音フェス」フィナーレ

(ワークショップ)

- ・ながさき音フェス縁日～長崎に季節を運ぶ風～
- ・まっきーのピースを並べてみんなで1枚！

・〈おんぷのあかり〉をつくろう！

北公民館会場

- ・ハンドベル講座
- ・邦楽入門～お話や楽器の音色を聴いてみよう～
- ・ヴァイオリン講座

5 出演団体

長崎県立長崎南高等学校吹奏楽部、長崎ハンドベルコミュニティ

6 出演者

時津仁美、河野久寿、福地友子、高橋崎山、吉本ヒロ、田川尚美、川島美穂、堀内伊吹、中村卓士、岩崎梓、森未来、谷川聖、牧野一穂、橋本剛

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	計
620 人	11 人	3 団体	113 人	744 人

8 準備経過

出演者調整 令和 7 年 5 月～6 月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎県音楽連盟





ミュージカル「出島から地球を見た男」～阿蘭陀通詞 志筑忠雄伝～

1 開催日時

令和7年11月15日(土) 19:00～

令和7年11月16日(日) 15:00～

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 大ホール

3 概要

江戸時代の長崎が生んだ阿蘭陀通詞であり蘭学者の志筑忠雄が翻訳によって生み出した日本語や数々の偉業、丸山遊女が出島から持ち帰り日本中に広めた西洋文化が、現代日本にどのように影響を与えているかを描き出すミュージカルを上演しました。

公募及びオーディションを経て決定した出演者が個人の持ち味を生かし、時にシリアスもユーモアも交えながらそれぞれに熱演して、観客に長崎・出島で活躍した志筑忠雄と丸山遊女たちが後世に残した偉大な功績を知っていただくことができました。

4 プログラム

11月15日(土)

18:00 開場、19:00 開演

11月16日(日)

14:00 開場、15:00 開演

脚本：村山仁志／演出：川下祐司

5 出演者

長崎市演劇協会加盟団体の俳優、一般公募参加者 計62名

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
1,171人	39人	57人	10団体	124人	1,391人

7 準備経過

参加者募集 令和6年12月～令和7年4月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、長崎市演劇協会



INFINITY NAGASAKI PEACE

1 開催日時

令和7年11月23日(日・祝) 13:00~17:00

2 開催会場

長崎港松が枝国際ターミナル

3 概要

長崎市内・県内を拠点に表現活動をしているミュージシャン、ダンスチームの計8組に出演いただき、延べ120人を超える来場者の方にそれぞれ特色あるパフォーマンスを体感していただきました。たくさんのアーティストが一堂に会するイベントとしたことで、地元ゆかりのアーティストと出会い、演奏を楽しむイベントになりました。

出演者には、平和に関するメッセージを込めたパフォーマンスを織り交ぜたステージを披露していただき、晴天の長崎港のロケーションも相まって、ピースフルな音楽フェスティバルとなりました。

4 プログラム

13:00 林孝行

13:30 侑佳

14:00 ちえる。

14:30 シャイニーダンスアカデミー

15:00 Honeytail&The rabbitfoot

15:30 脱線ジョン

16:00 道添祐一

16:30 古賀涼

5 出演者

古賀涼、道添祐一、脱線ジョン、ちえる。、Honeytail&The rabbitfoot、侑佳、シャイニーダンスアカデミー、林孝行

6 来場者数等(延べ人数)

来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	計
120人	7人	8団体	42人	169人

7 準備経過

出演者調整 令和7年5月~9月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、INFINITY NAGASAKI PEACE 実行委員会



被爆 80 年記念 ピーター・タウンゼント DAY 映画と朗読・音楽で紡ぐ平和への想い

1 開催日時

令和 7 年 11 月 22 日(土) 13:00~17:00

2 開催会場

長崎原爆資料館ホール

3 概要

被爆 80 年記念事業として、郵便配達中に被爆し、背中に大火傷を負った谷口稜暉氏の被爆体験を基に、元イギリス空軍大佐でジャーナリストだったピーター・タウンゼント氏が書いた「ナガサキの郵便配達」の朗読と、ギターやピアノ、ヴァイオリンなどのアンサンブルによる「ナガサキの郵便配達 組曲」の演奏を行いました。また、映画「長崎の郵便配達」の上映、ピーター・タウンゼント氏の長女であるイザベル・タウンゼント氏を招いてのトークイベントも行い、多くの方々に「平和」について考えていただく機会を創出することができました。

4 プログラム

ナガサキの郵便配達朗読×組曲（ナガサキの郵便配達 組曲／作曲 佐藤洋平）

映画「長崎の郵便配達」上映

イザベル・タウンゼント氏×齊藤芳弘氏 対談

5 出演者

朗読／永遠の会 U25（渡邊紗羽、岩永陽美、諸岡浩輔）

演奏／佐藤洋平、中村卓士、長崎 OMURA 室内合奏団（9 人）

対談／イザベル・タウンゼント、齊藤芳弘

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出演者	計
200 人	10 人	16 人	226 人

7 準備経過

出演者調整 令和 7 年 8 月～9 月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、公益財団法人長崎平和推進協会



Nagasaki まちなか文化祭

1 開催日時

令和7年11月22日(土) 13:30～15:40

令和7年11月23日(日・祝) 13:30～15:20

2 開催会場

ベルナード観光通り、タナカヤ

3 概要

長崎のまちなかを舞台に音楽・パフォーマンス・演劇・美術の4つのジャンルで、発表やワークショップを2日間にわたり行いました。

1日目の音楽ステージでは、10組48名の市民ミュージシャンに加え、スペシャルゲストのながさきピース文化祭2025アンバサダー平戸祐介氏にジャズ演奏で会場を盛り上げていただき、2日目のパフォーマンスステージでは、ダンス、マジック、民踊など9組104名が多彩なパフォーマンスを披露しました。

また、「まちなか劇場」では、長崎の人々になじみの深い商店や企業などについて取材し、その歴史やそこで働く人々の人生を演劇作品として創作し、オーディションで選ばれた13名の市民役者が約4か月の稽古を経て上演しました。

さらに、「まちなか美術館」では、平和への願いを込めた「折り鶴アート」のワークショップを1日目に開催し、2日目に完成した作品を展示しました。

人々が多く行き交う「まちなか」で開催したことで、今まで文化や芸術に触れる機会が少ない方々にも文化・芸術の素晴らしさを発信することができました。

4 プログラム

11月22日(土)

13:30 音楽ステージ

15:50 まちなか劇場

まちなか美術館

11月23日(日・祝)

11:30 まちなか劇場

13:30 パフォーマンスステージ

15:30 まちなか劇場

まちなか美術館

〈まちなか劇場〉

・Anytime Teatime～タナカヤ物語～

・タビするキモノ～キモノホッペン物語～

・みずの足あと～長崎市水道資料室物語～
作／演出 川内清通

5 出演団体・出演者

音楽ステージ

諏訪弦楽クラブ、ユーフォニアムアンサンブル「しばしのこゆき」、K&L's factory、木下新次、津軽三味線 佐々木光儀流 光由美会、Magokoro、Sax for Beer

パフォーマンスステージ

Ise Hula O Halau Mahiehie、THEATRE DANCE、おとなダンス Harmony、日本民踊研究会長崎県支部、レインボーキッズ、長崎マジッククラブ、アンニョン DANCECLUB、WING dance school、タヒチアンダンス NOANOA

まちなか劇場

荒木今日子、草場舞、KANAME、田川真樹、林大智、山川海空、平野百華、川内清通、丸岡陽奈、元尾裕介、横山莉希、米岡優紀乃、シマカワコウヂ

6 特別出演者

平戸祐介、田川遊人

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演団体	出演者	計
1,438 人	19 人	8 人	20 団体	186 人	1,651 人

8 準備経過

出演者公募 令和7年5月～7月

出演者審査 令和7年8月

9 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会



ながさきピース文化祭 2025 日本舞踊公演

1 開催日時

令和7年11月23日(日・祝) 13:00～

2 開催会場

ベネックス長崎ブリックホール 大ホール

3 概要

長崎の特色ある文化や歴史を題材にした古典舞踊や、趣の異なる創作舞踊、また長崎居留地合唱団の合唱曲に合わせての新作の日本舞踊など流派や社中の枠を超えた舞台を披露しました。通常の舞台とは違ったながさきピース文化祭2025のための舞台内容で実施したことで、日本舞踊に馴染み深い方だけでなく、初めて鑑賞する方にも楽しんでいただき、新たな日本舞踊の魅力発信につながりました。

4 プログラム

12:30 開場

13:00 開演

長唄義太夫 令和三番叟

組曲 歌時計 竹久夢二のポエム・ノスタルジー

長唄 飴売り唐人

組曲 出島・丸山/阿蘭陀傾城絵巻

ビードロ細工

合唱組曲 海へ

5 出演者

花柳昌太女 花柳寿々初 花柳孝光央 藤間喜州 藤間金彌 藤間勝治郎 藤間裕太郎
藤間峰織貴、その社中や県内在住の舞踊家110名、長崎居留地合唱団

6 来場者数等(延べ人数)

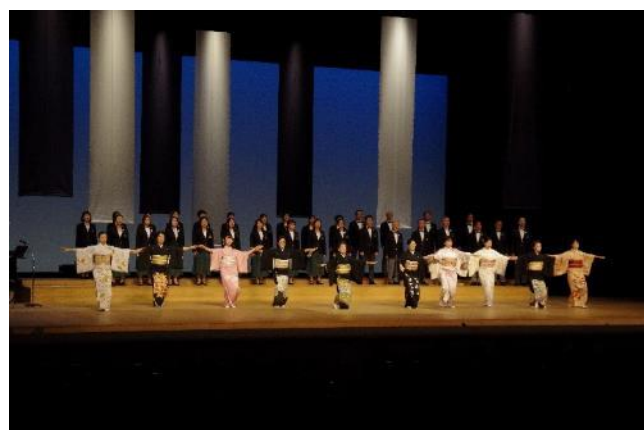
来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	計
1,107人	60人	8団体	515人	1,682人

7 準備経過

出演者調整 令和7年8月～11月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、ながさきピース文化祭2025 日本舞踊公演実行委員会



被爆 80 年記念 平和映画祭

1 開催日時

令和 7 年 11 月 29 日(土) 13:00～

令和 7 年 11 月 30 日(日) 13:00～

2 開催会場

長崎原爆資料館

3 概要

初日は、映画の上映に先立ち、知覧特攻平和会館の語り部による講話を実施しました。講話では、特攻の歴史や隊員たちが残した遺書のほか、長崎市出身の特攻隊員の紹介もあり、来場者の皆様に特攻について理解を深めていただき、映画では、特に若い世代に向けて友情や家族の絆、人権尊重の大切さを伝えるとともに、戦争がもたらす悲劇を知ることによって平和の尊さを訴え、未来に向けて平和を築くための行動を考えるきっかけとなるイベントとなりました。

併せて、会場には特攻隊員たちが遺した「最後の言葉」や特攻に関する資料パネル展示も行い、多くの皆様にご覧いただくことで「平和の大切さ」について深く考えていただく機会となりました。

4 プログラム

11月29日(土)

第1部 知覧特攻平和会館の語り部による講話

第2部 映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」上映

11月30日(日)

映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」上映

5 出演者

語り部／松山尚子（知覧特攻平和会館）

手話通訳／小淵みどり、池田真（一般社団法人長崎県ろうあ協会）

6 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	計
430 人	31 人	2 団体	3 人	464 人

7 準備経過

出演者調整 令和 7 年 2 月～ 3 月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、公益財団法人長崎平和推進協会、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館



ハートセンター文化祭（障害者交流事業）

1 開催日時

令和7年11月16日(日) 9:30~15:00

2 開催会場

長崎市障害福祉センター（もりまちハートセンター）

3 概要

「こころのバリアフリー」をメインテーマに、障害のある人もない人も一緒に楽しめること、また、平和について発信する文化祭を開催しました。

ステージ部門は、センターを利用し活動している障害者グループやサークル等11団体による大正琴や和太鼓演奏、ダンス等が披露され、各々日頃の練習の成果を発表しました。また、ゲストとして保育園児や高橋流三味線奏者を迎え、可愛らしい奉納踊りや美しく力強い演奏で観客の方々を魅了しました。締めくくりは、障害者のダンスグループのバンビーズとバタフライによる観客と一体となって踊るグランドフィナーレで盛大に終了しました。

展示部門では長崎歴史文化博物館と協力した「南蛮屏風」の展示や、障害者団体の作品展示、子どもたち向けの縁日、ワークショップ、障害福祉サービス事業所で利用者の皆さんが作成した授産製品等のマルシェ及びカフェを開催しました。普段利用しない方にもご来場いただいたことで、多くの方々と賑わい、障害者の社会参加の促進と障害者への理解を深めるきっかけとなる1日となりました。

4 プログラム

ステージ

- 9:30 開会式
- 9:45 大正琴（夕すげの会）
- 10:05 ダンス・合唱（生活介護事業所 あおぞら）
- 10:20 奉納踊り（山王保育園）
- 10:35 フラダンス（フラハーラウホオヘノヘノイカプウヴァイ）
- 10:50 リカバリーストーリー発表（NPO 法人 長崎のぞみ会）
- 11:00 カラオケ（地域活動支援センター やまぼうし）
- 11:15 車椅子ダンス（長崎フレンズ）
- 11:30 太鼓の演舞（長崎ダルク）
- 13:00 和太鼓（長崎一心太鼓）
- 13:15 高橋流 津軽三味線（川原珠実）
- 13:45 ヨガスポーツダンス（障がい者就労支援センター ブリス）
- 14:00 ダンス（バンビーズ）

14:15 フィーリングアートバレエ (バタフライ)

14:30 グランドフィナーレ

14:45 閉会式

ワークショップ

キワニスドール作成、アクセサリー作り、缶バッチ作り

5 出演団体・出演者

山王保育園、川原珠実、DJ シモダ、長崎市障害福祉センターのグループ・サークル 11 団体 (夕すげの会、生活介護事業所 あおぞら、フラハーラウホオヘノヘノイカプウヴァイ、NPO 法人 長崎のぞみ会、地域活動支援センター やまぼうし、長崎フレンズ、長崎ダルク、長崎一心太鼓、障がい者就労支援センター ブリス、バンビーズ、バタフライ)

6 来場者数等 (延べ人数)

来場者・観覧者	スタッフ	出演団体	出演者	出展者	出展作品	計
680 人	111 人	14 団体	339 人	166 人	166 点	1,296 人

7 準備経過

出演者調整 令和 7 年 7 月～8 月

8 主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会、社会福祉法人長崎市社会福祉事業団





ながさき・ピース・クラフト・コンテスト

1 開催期間

コンテスト：令和7年8月1日(金)～令和7年9月28日(日)

表彰式：令和7年11月3日(月・祝) 13:00～17:00

Nagasaki City ワールド及び受賞作品の公開：

令和7年11月3日(月・祝)～令和7年11月30日(日)

2 開催会場

コンテスト、Nagasaki City ワールド及び受賞作品の公開：オンライン

表彰式：長崎スタジアムシティ NORTH NUTIC 講義室1・2、ラウンジエリア

3 概要

オンラインゲーム「マイクラフト」で長崎のまちや文化等を表現するコンテストを開催しました。約2か月間の応募期間に全国から74作品が寄せられ、5作品を最優秀賞・部門賞として選定しました。県外の受賞者にも表彰式のため長崎市を訪れていただき、リアルな長崎市のまちも体感していただきました。

長崎市は、数多くの文化施設や異国情緒豊かな観光地などを有するまちであり、広島とともに今年被爆80年を迎える世界で唯一の戦争被爆地です。そうした長崎市にしかない歴史や魅力、平和を希求する思いを、マイクラフトでの制作を通して知っていただくことができました。

また、「Nagasaki City ワールド」として仮想空間上で長崎市のまちなみを受賞作品とともに公開し、応募者だけではなく、多くのマイクラフトファンの皆様にもお楽しみいただきました。

4 プログラム

11月3日(月・祝) 表彰式

イベント名：ながさきピース文化祭 2025 ながさきピース・クラフト・コンテスト×
創造スイッチ tec-nova Nagasaki マイクラチャレンジ！

13:00 マイクラフト・3Dプリンター体験

15:00 ながさき・ピース・クラフト・コンテスト表彰式

16:00 KAZU氏トークショー

5 表彰

最優秀賞／「スタジアムシティ」 長崎北高探求マイクラ部（長崎県）

まちづくり賞／「大浦天主堂」 はごろも

ピースメッセージ賞／「平和公園」 田中悠翔

リトルクリエイター賞／「長崎摩天楼タワー」 松田青珠

6 審査員

KAZU（動画クリエイター）

高尾忠志（長崎市景観専門監）

かすていらヨリコ（Vtuber）

瀬戸崎典夫（チーム・テクノバながさき長崎大学情報データ科学部准教授）

久富美海（長崎放送株式会社 e スポーツ部部长）

7 来場者数等（延べ人数）

来場者・観覧者	スタッフ	出演者	出展者	出展作品	計
178,489 人	34 人	22 人	74 人	74 点	178,619 人

8 準備経過

作品募集 令和7年8月～9月

ワールド制作 令和7年8月～11月

9 主催

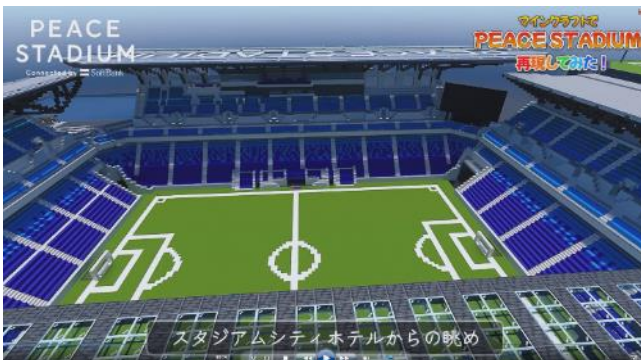
文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会

■表彰式、トークショー





■受賞作品
スタジアムシティ



長崎摩天楼タワー



カステラジェットコースター



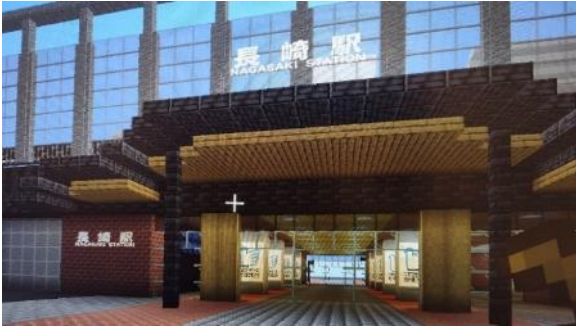
大浦天主堂



平和公園



■Nagasaki City ワールド



イベント

ピースマイルフェス in かもめ広場

1 開催日時

令和7年3月9日(日) 12:00~18:00

2 開催会場

長崎駅かもめ広場

3 概要

ながさきピース文化祭 2025 の開催周知や気運醸成、また、より多くの方々に文化祭に関わっていただくため、市内で活動するダンスグループや芸術文化に携わる団体や個人に参加いただきました。

加えて、長崎市観光大使及びながさきピース文化祭 2025 アンバサダーであるアーティストや長崎市民に人気の中国の伝統芸能「変面」をオマージュした芸を披露するお笑い芸人に出演いただいたことで、パフォーマンスやトークショーを通じて来場者に長崎の魅力を感じていただくとともに、開催周知、気運醸成により一層の効果を得られました。



4 プログラム

ピースマイルステージ

▶ ダンスパフォーマンス

市内のダンススクールや学校など 13 団体 34 チームによるダンス披露

出演団体：UNO-NGSK、ダンスマスターズ、長崎女子商業高等学校ダンス部、スペースユニオン、WING dance school、おとなダンス Harmony、Hoaloha Hula～ホアロハ フラ、長崎市 jazzfunk・kpop ダンス練習会、西日本ハワイアン協会、Diva+dance school、カントリーダンスながさき、長崎民謡舞踊連盟、M.O.C.A dance school

▶ ちびっこ DJ 体験会

長崎大学 DJ サークルのデモンストレーション、希望者 20 人による DJ 体験会

▶ スペシャルゲストによるパフォーマンス

THE RAMPAGE 浦川翔平 (長崎市観光大使、ながさきピース文化祭 2025 アンバサダー)

ダンスパフォーマンス (長崎女子商業高等学校ダンス部とコラボレーション)

トークショー

ロバート 秋山竜次

中国の伝統芸能「変面」をオマージュした「変梅」披露

じゃんけん大会ほか

▶ 長崎居留地男声合唱団・女声合唱団オルテンシアによる合唱披露

▶ 大抽選会 (ビンゴ大会)

※ステージのバックパネルのデザインは、長崎市でアートを通じた障害支援を行う
NPO 法人 Tsunagu family が制作



ピースマイル芸術文化・体験ブース

- ▶ 市内で芸術文化活動に携わる団体・個人による出展ブース

出展団体：長崎やけんステンドグラス塾、(一社)日本ふれあい育児協会、イラストレーター櫻華「さくらいろキャンパス」、ながさき結髪研究会、(特非)スポーツ & エデュケーション長崎、もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会、イラストレーターヘルニア国おーじ、8.9 Project、CHEBLO、ART STUDIO HIVE、長崎ネットワーク市民の会、長崎東山手洋館活用プロジェクト、長崎居留地男声合唱団・女声合唱団オルテンシア～長崎居留地合唱とオペラの丘プロジェクト～、一般社団法人長崎ウーマンズ・ウォークラリー、PEACE DAO、天壤

- ▶ 市内で活動する団体による体験ブース

出展団体：長崎県ろうあ協会（手話体験）、UNO-NGSK（ブレイキン体験）

- ▶ ながさきピース文化祭 2025 P R ブース（クイズラリー、フォトプロップス）

5 参加者数

3,120 人（来場者 2,670 人、出演者・出展者 450 人）

■ ダンスパフォーマンス



■ 出展ブース



■体験ブース



■会場の様子



COCOでもピースな文化祭！

1 開催日時

令和7年8月31日(日) 11:00~17:00

2 開催会場

みらい長崎ココウォーク

3 概要

ながさきピース文化祭 2025 の開催周知や気運醸成、身近に文化・芸術に触れる機会の確保に向け、開幕直前のプレイベントを開催しました。



4 プログラム

2階 ココスクエア

- ▶ 長崎の伝統工芸「長崎ハタ」絵付け体験
- ▶ 折り紙体験（日本折紙協会長崎支部 長崎おりがみ伝承の会）
- ▶ 折り紙作品展示（日本折紙協会長崎支部 長崎おりがみ伝承の会）

※ 長崎ハタ、折り紙の体験作品は、ひとつの大きなアートオブジェを制作し、ながさきピース文化祭 2025 開催期間中に市役所 1 階に展示

3階 ギアーズジャム前ブリッジ

- ▶ 長崎刺繍 糸縫り体験（「長崎刺繍」再発見塾）
- ▶ 長崎刺繍作品展示（「長崎刺繍」再発見塾）

5階 TSUTAYA BOOKSTORE イベントスペース

- ▶ 合唱（長崎少年少女合唱団）
- ▶ 読みかたり（モトアナママブ）
- ▶ いけばな実演（長崎いけばな連盟）
- ▶ チンドンパフォーマンス（かわち家）
- ▶ 紙芝居（かわち家）
- ▶ アーティストミニコンサート（タナカハルナ）
- ▶ いけばな作品展示（長崎いけばな連盟）
- ▶ ながさきピース文化祭 2025 長崎市実行委員会主催事業の紹介

5 参加者数

来場者 1,320 人

■ワークショップ・体験



■作品展示



■ステージ



■ワークショップ作品展示（市役所1階）



■缶バッジ 4,000 個
(ピンク 2,000、白・黒各 1,000)



■ステッカー 2,200 枚



■うちわ 2,000 本



■ポケットティッシュ 1,000 個



■ロゴ入り手提げ袋 2,000 枚



■法被 5 枚



■折り鶴再生菜 2,000 枚



■風船 1,000 個



■公用車マグネットシート 400 枚



■テーブルクロス 2 枚



横断幕

■市庁舎 1階

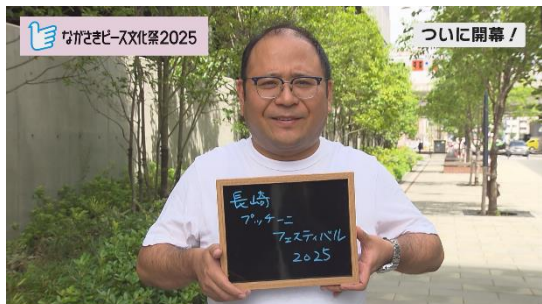
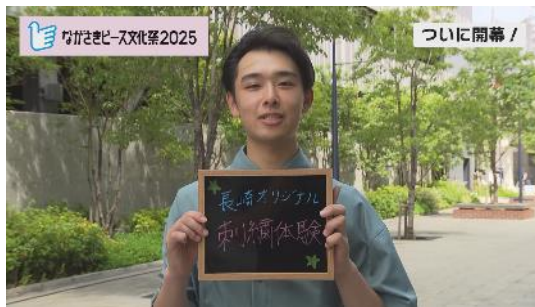


PR動画

■さだまさし氏（ながさきピース文化祭 2025 スペシャルアンバサダー）のコメントを中心に文化祭の概要を伝える動画（30秒動画 2パターン）



■市民に文化祭で楽しみにしている事業をインタビューする動画（15秒動画 5パターン）



■放映場所

長崎駅かもめビジョン、市庁舎透過ディスプレイ、市庁舎 AED サイネージ、新大工ファンスクエア、スタジアムシティ内モニター広告、ゆめタウン夢彩都情報発信コーナー、スタジアムシティ高架下広場、長崎ロープウェイ待合所

デジタルサイネージ

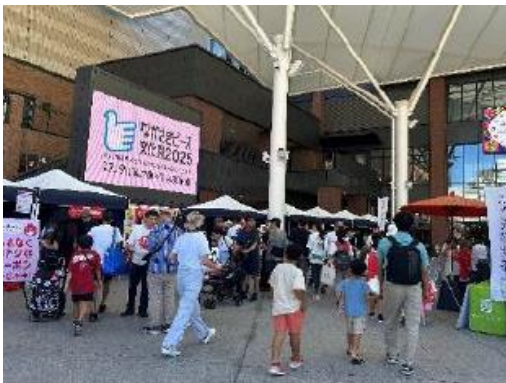
■市庁舎 1階



■市庁舎透過ディスプレイ



■かもめビジョン



■夢彩都



■スタジアムシティ



■令和6年9月号

広報 **ながさき** No. 364
 人とまちをつなぐ情報誌
 9月14日発行

永瀬選手オリンピックで金メダル! 感動をありがとう

ながさきピース文化祭2025
 開催まであと1年!

ながさきピース文化祭って何?」
 「文化をみんなに」
 長崎市では何をしますの?」
 「応援募集」募集中!

■令和7年2月号

広報 **ながさき** No. 377
 人とまちをつなぐ情報誌
 2月14日発行

輝彩色で華やぐ夜のまち

100年に
いちどの
長崎

ピースアイル 3/90
ピースの祭典

大田誠司
フォトブース

■令和7年4月号

広報 **ながさき** No. 391
 人とまちをつなぐ情報誌
 4月14日発行

春遊園地スタート!
笑顔あふれた再開もさあへ始まる!

CITY NEWS
 ながさきTIMES
 2/22 卒業と百歳が
笑顔で交差

■令和7年8月号

広報 **ながさき** No. 395
 人とまちをつなぐ情報誌
 8月14日発行

おの日から80年
100歳の想いを未来へつなぐ

EVENT PICK UP

9/6 国際交流センター
9/31 ながさきピース文化祭2025
9/12 長崎県立美術館
9/9 長崎県立美術館

■令和7年9月号

広報 **ながさき** No. 397
 人とまちをつなぐ情報誌
 9月14日発行

文化をみんなに
ながさきピース文化祭2025

ながさきピース文化祭2025
 25.9.14(日)~11.30(日)

文化をみんなに
 いよいよ開幕! ながさきピース文化祭2025

イチョノ情報!
 ながさきピース文化祭2025
 ながさきピース文化祭2025
 ながさきピース文化祭2025

ながさき文化祭の見どころ! 文化の魅力!

新選
 音楽
 芸術
 食文化

ながさき文化祭2025
 いろんな文化に
 ながさき文化祭2025
 ながさき文化祭2025
 ながさき文化祭2025

しげもん レンデイ
 長崎県産の旬な食材を使用した、しげもんならではの旬なメニューです。

職員の推し!
 長崎県産の旬な食材を使用した、しげもんならではの旬なメニューです。

ながさきピース文化祭2025
 ながさきピース文化祭2025
 17.9月14日(日)~11月30日(日)

文化をみんなに

■令和7年10月号

広報 **ながさき** No. 397
 人とまちをつなぐ笑顔あふるごとき情報誌

とほほとほ こどもの笑顔

CITY NEWS **ながさきTIMES**
 ながさきタイムズ No. 397

8/31 市民参加型文化祭

8/27 市民参加型文化祭

■令和7年11月号

広報 **ながさき** No. 398
 人とまちをつなぐ笑顔あふるごとき情報誌

遅れなくても心はひとつ

ながさきピース文化祭2025 EVENT PICK UP

11/22, 23 11/22 11/22, 24 11/15, 16 11/29, 30 11/23 11/16 11/15, 16 11/15, 16

■令和7年12月号

広報 **ながさき** No. 399
 人とまちをつなぐ笑顔あふるごとき情報誌

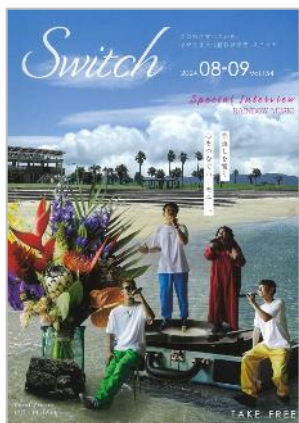
ゆづり摘み、笑顔の冬。

CITY NEWS **ながさきTIMES**
 ながさきタイムズ No. 399

12/30 ながさきピース文化祭2025 大盛況

12/1 長崎県農業協会の40周年をみんなでお祝いしました

■令和6年08-09月号



■令和6年10-11月号



■令和6年12-令和7年01月号



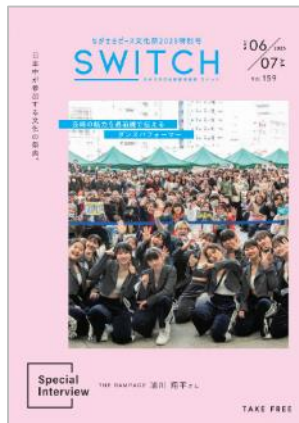
■令和7年02-03月号



■令和7年04-05月号



■令和7年06-07月号



■令和7年08-09月号



■令和7年10-11月号



■令和7年12-令和8年01月号



週刊あじさい

■令和7年2月下旬



■令和7年8月上旬



■令和7年9月上旬



市トクながさき

■令和7年2月28日

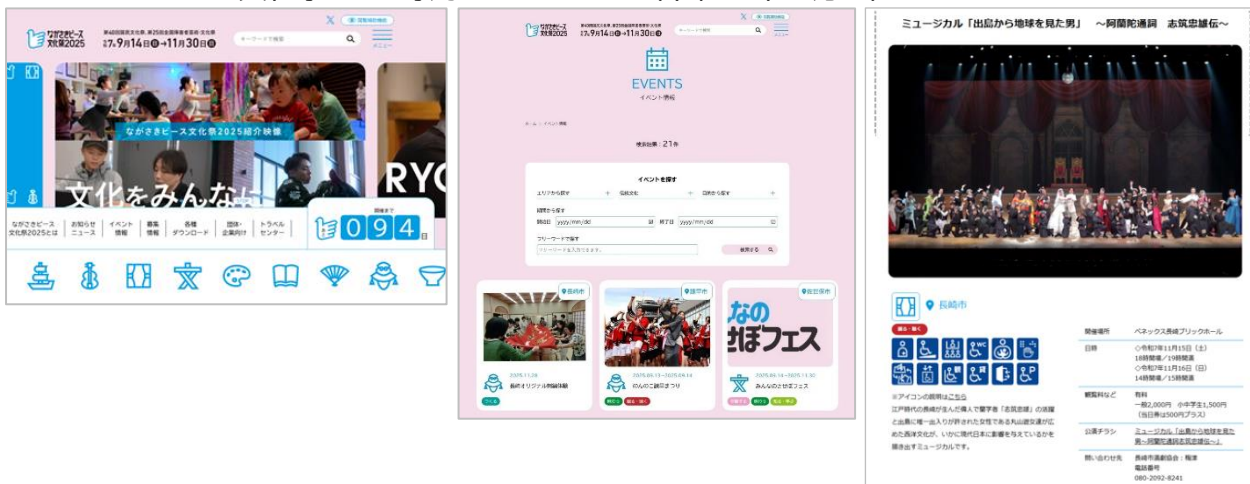


■令和7年8月22日



ホームページ・SNS

■ながさきピース文化祭 2025 専用ホームページ (令和 6 年 3 月～)



■長崎市ホームページ



■長崎県実行委員会公式 Instagram (令和 7 年 4 月～)



■長崎市文化振興課公式 X



イベント

市内の文化・観光イベントなどでチラシ、リーフレット、市公式ガイドブック等を配布しました。

■令和5年度

開催日	イベント名	会場
11月6日	Nagasaki まちなか文化祭	ベルナード観光通り
3月3日	文化のつどい	長崎市民会館
3月10日～12日	第64回市民いけばな展	ベネックス長崎ブリックホール
3月12日	ラウンジコンサート	ベネックス長崎ブリックホール
3月17日	親子で楽しむ「観る童話」	長崎市琴海文化センター

■令和6年度

開催日	イベント名	会場
7月20日～23日	平和のアート制作	長崎市役所
7月21日	戯曲講座	長崎市役所
7月25日～26日	県下議会事務局長会	
7月27日～28日	2024ながさきみなとまつり	水辺の森公園
8月12日	ブリック真夏の感謝祭	ベネックス長崎ブリックホール
8月20日	ラウンジコンサート	ベネックス長崎ブリックホール
8月24日～25日	長崎夜市	中島川公園
8月25日	戯曲講座	長崎市役所
8月28日	こども演劇体験教室「えんげキッズ」発表会	ベネックス長崎ブリックホール
9月14日～15日	きままつり（文化団体のイベント）	アトリエ PentA
9月14日～16日	長崎居留地まつり	旧外国人居留地
9月21日	西九州新幹線2周年イベント	長崎駅
10月5日	遠藤周作を偲ぶ一日	出津地区ふれあいセンター

開催日	イベント名	会場
10月13日	やがみハッピーハローウィーク	東部地区にこにこセンター
10月20日	輪っしょい祭り	平間中央公園
10月27日	まちづくり総合住宅フェア	長崎県庁
10月27日	犬と猫の譲渡会	動物愛護管理センター
10月31日	発達障害ネットワーク会議	
11月1日～	長崎市PR展 in 東京シティ・エアターミナル	東京シティ・エアターミナル
11月3日	ウーマンズ・ウォークラリー	長崎市内
11月13日	市民防火のつどい	長崎市文化ホール
11月17日	長崎ベイサイドマラソン	水辺の森公園
11月17日	子育てフェスタ	東部地区にこにこセンター
11月23日	実り恵みの感謝祭	長崎駅かもめ広場
11月24日	地球市民フェス	スタジアムシティ
12月8日	東部地区クリスマス会	東部地区にこにこセンター
1月18日	ココが文化の広場	みらい長崎ココウォーク
1月25日	ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ	ベネックス長崎ブリックホール
1月29日 ～2月12日	2025 長崎ランタンフェスティバル	新地中華街ほか
2月7日～9日	第65回市民いけばな展	ベネックス長崎ブリックホール
3月9日	文化のつどい	長崎市民会館
3月15日～23日	市民演劇祭	チトセピアホール

■令和7年度

開催日	イベント名	会場
5月4日	鯉・来い祭り IN 神浦川河川公園	そとめ神浦川河川公園
5月11日～	V・ファーレン長崎ホームゲーム (シャトルバス)	PEACE STADIUM～まちなか
5月11日	元気がいちばんたい！健康まつり	ベルナード観光通り
5月17日	長崎市立図書館 定期上映会	長崎市立図書館
5月20日	第136回九州市長会	出島メッセ長崎
5月24日	町公連まつり	長崎市民会館
5月25日	国連と追悼する戦後（被爆）80周年 平和コンサート	ベネックス長崎ブリックホール
5月31日	わくわくサイエンスまつり	長崎市科学館
5月31日	重要文化財「聖福寺」修理現場見学会	万寿山 聖福寺
6月14日	内村航平さんの体操教室	HAPPINESS ARENA
7月22日	滑石地区ラジオ体操イベント	滑石地区
7月26日～27日	2025 ながさきみなとまつり	水辺の森公園
8月2日	深堀夏まつり	深堀地区
8月6日	夏 長崎から 2025 (さだまさし野外コンサート)	稲佐山公園野外ステージ
8月18日	長崎市中学生議会	長崎市議会議場

市庁舎・市施設

■市庁舎 1階



- 市庁舎各階掲示板上のポスター掲示
- 市庁舎、地域センター等でののぼり及び卓上のぼり設置
- 市庁舎、地域センター等でのパンフレット設置・配布

民間事業者等のご協力

■複合商業施設（アミュプラザ長崎、夢彩都、チトセピア）

- ・ポスター、のぼり、卓上のぼりの設置
- ・従業員の缶バッジ着用
- ・折り鶴再生菜の配布 など

■商店街（広馬場商店街、江戸町商店街、平和町商店街、住吉商店街）

- ・ポスター、のぼり、卓上のぼりの設置

■宿泊施設（宿泊施設協議会）

- ・チラシの設置
- ・従業員のバッジ着用

■包括連携締結企業（明治安田生命保険相互会社長崎支社、第一生命保険株式会社長崎支社、日本生命保険相互会社長崎支社、生活協同組合ララコープ）

- ・公式リーフレットの配布
- ・従業員のバッジ着用

事業実施当日

■PR ブース



その他広報

- 新聞広告（令和7年元日号）
- ふれあい掲示板
- 地域センターだより
- 自治会掲示板用チラシ配布
- 市立小中学校向け保護者連絡サービス「tetoru（テトル）」
- 市長定例記者会見
- ラジオ

長崎市の各部局との連携による観光、食の魅力及び平和の発信の取組み

文化祭期間中に訪れる県外の方々に向けて、長崎の観光・食などの魅力に触れていただき満足度の向上等を図るための取組みや平和の発信に向けた取組みを行いました。

観光、食などの魅力の発信に関すること（文化観光部、経済産業部、水産農林部）

目的	内容
情報発信	<p>長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」内に文化祭関連の特集ページを設け、文化祭事業と関連づけて市内観光情報などを紹介しました。</p> <p>【期間】 8月1日～12月12日</p>
情報発信	<p>市実行委員会の主催事業の会場で長崎市の観光及び食に関するパンフレットを設置しました。</p>
おもてなし	<p>文化祭開催期間に合わせ、稲佐山の電波塔を文化祭のシンボルカラーであるピンク色にライトアップしました。</p> <p>【期間】 9月12日～10月13日（9月17日及び30日除く）</p>
PR おもてなし	<p>市実行委員会の主催事業の一部の会場で、長崎市ブランド振興会、シュガーロード連絡協議会及び「長崎和牛・出島ばらいろ」消費拡大実行委員会との連携により、長崎市の特産品及びおみやげを販売しPRを行いました。</p> <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ながさき流鏝馬まつり in 長崎（9月14日／県庁舎跡地） ・全国邦楽合奏フェスティバル in 長崎（10月5日／ベネックス長崎ブリックホール） ・～長崎居留地 合唱とオペラの丘プロジェクト～ 合唱 オペラ「愛の妙薬」（10月26日／ベネックス長崎ブリックホール） ・川柳の祭典（11月2日／ベネックス長崎ブリックホール） ・小倉百人一首競技かるた全国大会（11月2日、3日/長崎県立総合体育館） ・大正琴の祭典（11月9日/長崎市民会館）
PR	<p>作品募集を行う地域文化発信事業において、入賞者への副賞として「長崎和牛・出島ばらいろ」消費拡大実行委員会との連携により、長崎のブランド牛「出島ばらいろ」を提供しPRを行いました。</p> <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ながさき・ピース・クラフト・コンテスト（11月3日/長崎大学テクノロジーイノベーションキャンパス）

■長崎市公式観光サイト「travel nagasaki」特設ページ（令和7年8月～）



■稲佐山山頂電波塔ライトアップ



■長崎市特産品ブース



平和の発信に関すること（原爆被爆対策部）

目的	内容
情報発信	<p>「平和の文化」及び「クスノキプロジェクト」に関するパネル展示を行いました。</p> <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎国際音楽フェスティバル 2025 (9月20日～21日／ベネックス長崎ブリックホール) ・全国邦楽合奏フェスティバル in 長崎 (10月5日／ベネックス長崎ブリックホール) ・川柳の祭典 (11月2日／ベネックス長崎ブリックホール)

■平和発信ブース



来場者数等・アンケート結果

来場者数等

■来場者数等（延べ数）

来場者・観覧者	スタッフ	ボランティア	出演者	出展者	合計
258,046 人	3,608 人	1,214 人	14,093 人	3,059 人	280,020 人

■出演団体 493 団体

■出展作品 11,987 点

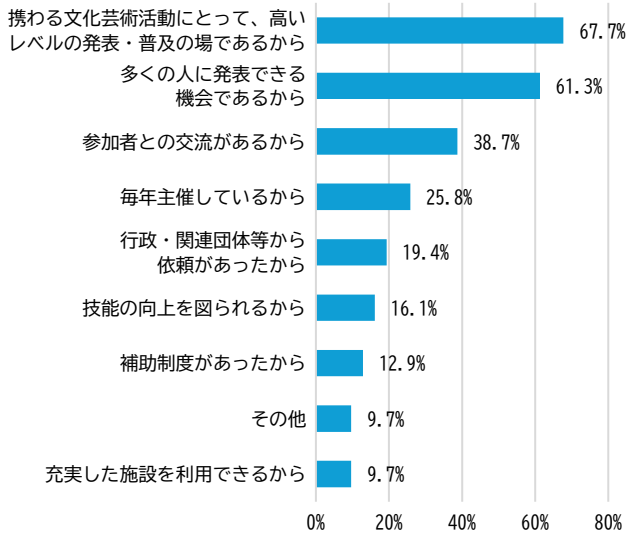
アンケート

ながさきピース文化祭 2025 の来場者・出演団体及び主催者を対象に、県統一内容のアンケートを実施し、市主催事業を集計しました。（調査方法：紙及びWEB）

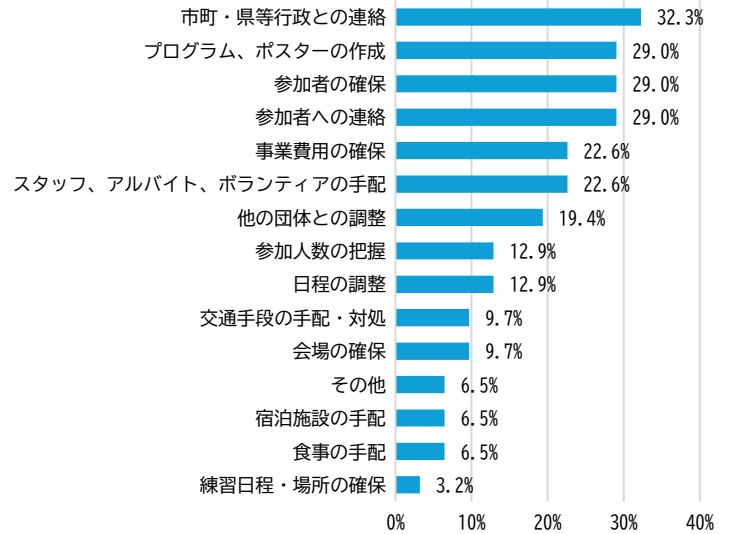
	主催者	出演団体	来場者
回答数	31 団体	175 団体	2,061 人
調査項目	1 主催した理由 2 主催者としての苦勞・課題 3 事業の成果 4 今後の全国的な文化芸術イベントへの参加意向 5 地域の文化芸術の向上発展に必要なこと 6 ながさきピース文化祭 2025 のレガシー 7 県・市の文化振興施策全般に対する要望・意見、その他自由意見	1 属性（性別、年齢構成及び活動本拠地） 2 参加・出演理由 3 参加・出演した事業の感想 4 地域の文化芸術の向上発展に必要なこと 5 ながさきピース文化祭 2025 のレガシー 6 参加・出演当日の会場周辺での活動 7 参加・出演当日に県内で支出した金額（交通、宿泊、飲食、土産、入場・入館料） 8 その他自由意見	1 属性（性別、年齢、居住地及び宿泊の有無） 2 情報入手手段 3 来場した事業の感想 4 アクセシビリティ向上のために必要なこと 5 地域の文化芸術の向上発展に必要なこと 6 来場当日の会場周辺での活動 7 来場当日に県内で支出した金額（交通、宿泊、飲食、土産、入場・入館料） 8 その他自由意見

主催者アンケートの主な結果

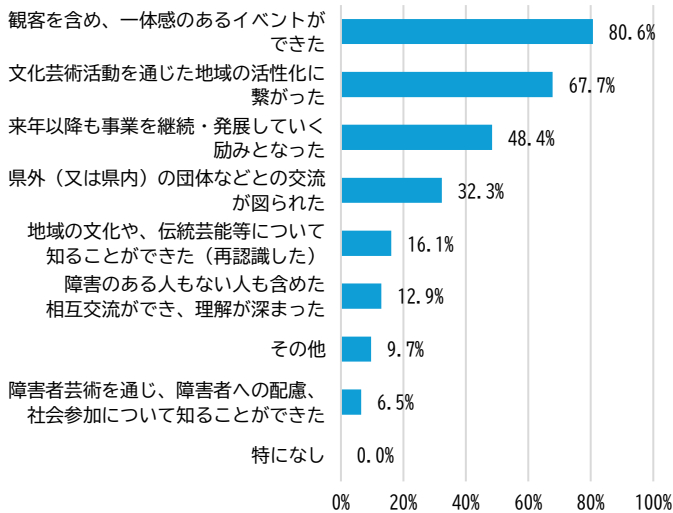
1 主催した理由(複数回答)



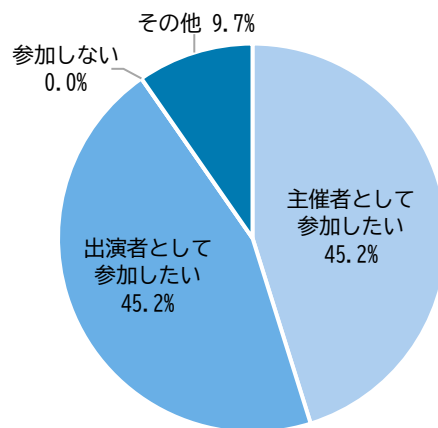
2 主催としての苦勞・課題(複数回答)



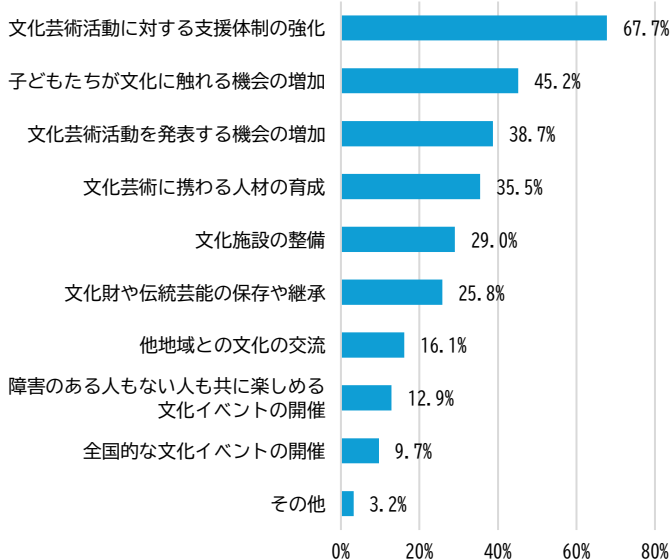
3 事業の成果(複数回答)



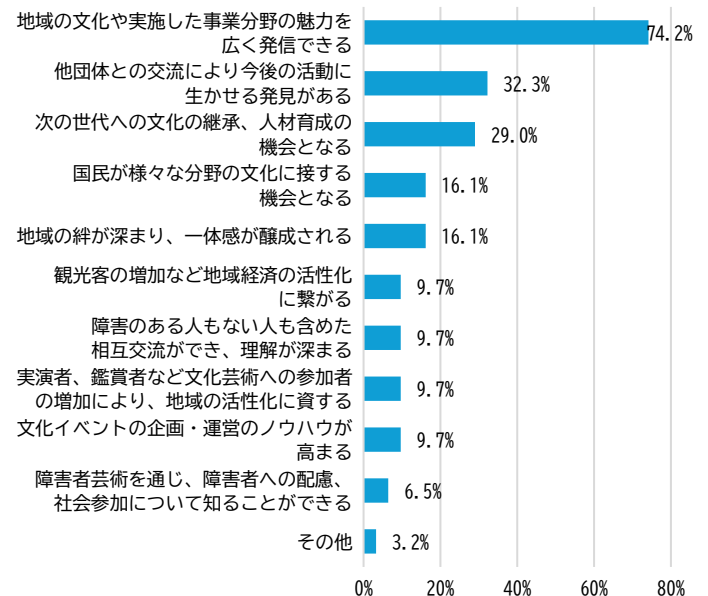
4 今後の全国的な文化芸術イベントへの参加意向



5 地域の文化芸術の向上発展に必要なこと(複数回答)

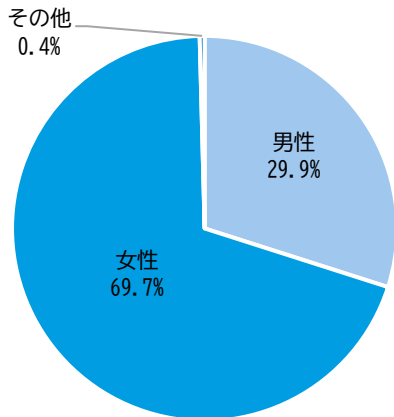


6 ながさきピース文化祭 2025 のレガシー(複数回答)

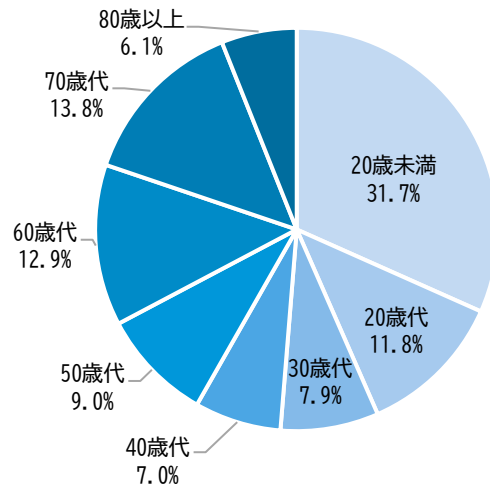


出演団体アンケートの主な結果

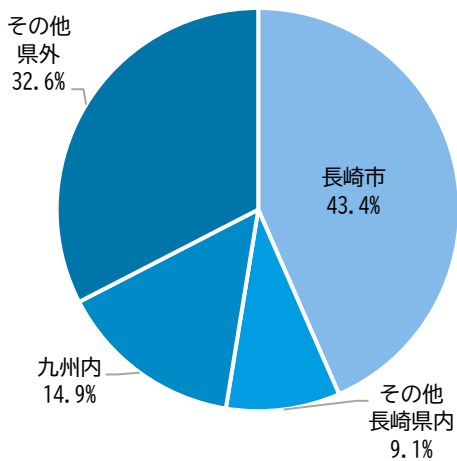
1 - (1) 性別



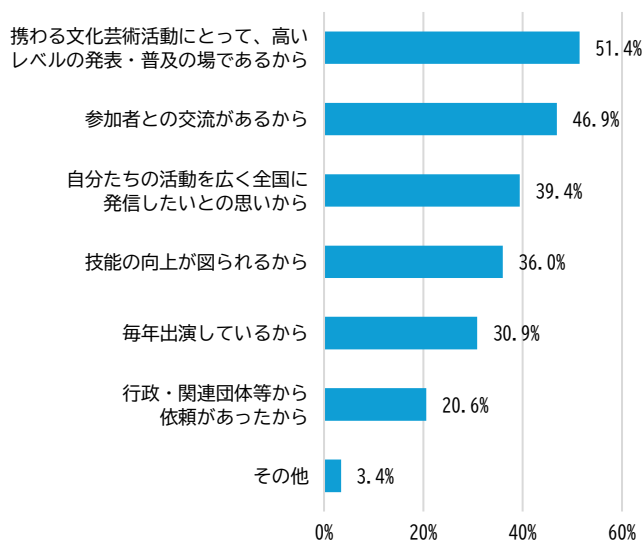
1 - (2) 年齢



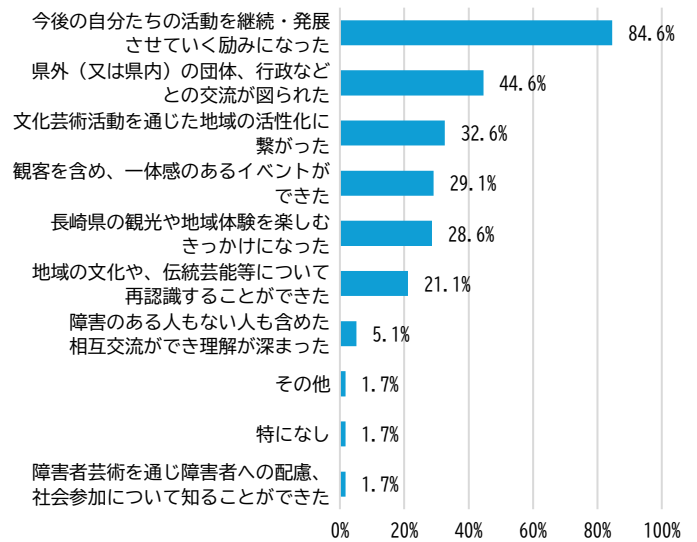
1 - (3) 活動本拠地



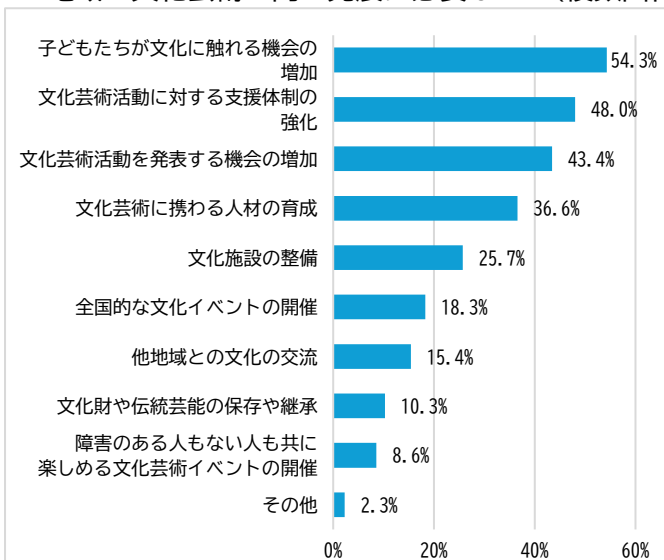
2 参加・出演理由(複数回答)



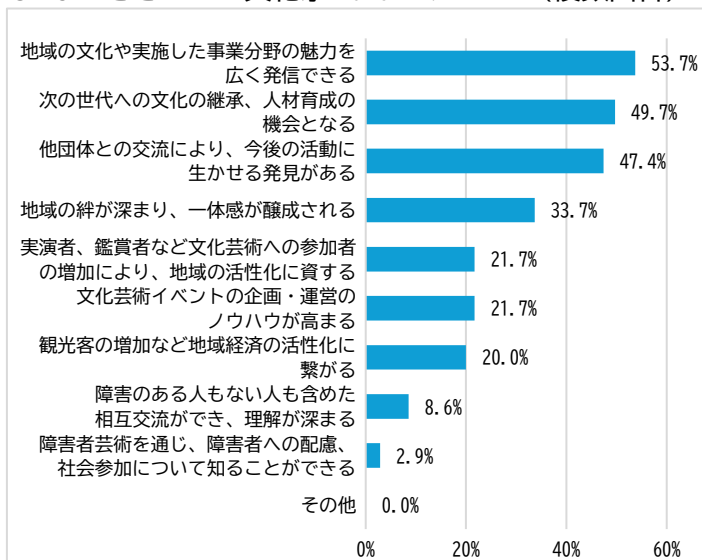
3 参加・出演した事業の感想(複数回答)



4 地域の文化芸術の向上発展に必要なこと(複数回答)

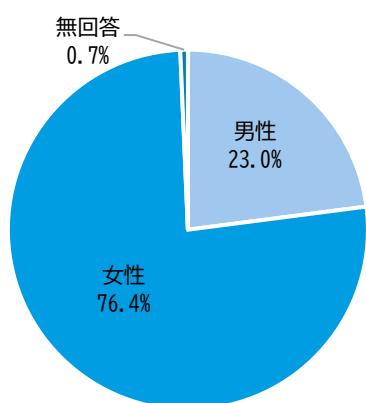


5 ながさきピース文化祭 2025 のレガシー(複数回答)

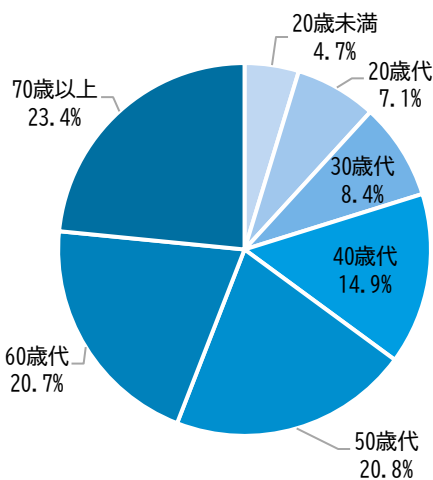


来場者アンケートの主な結果

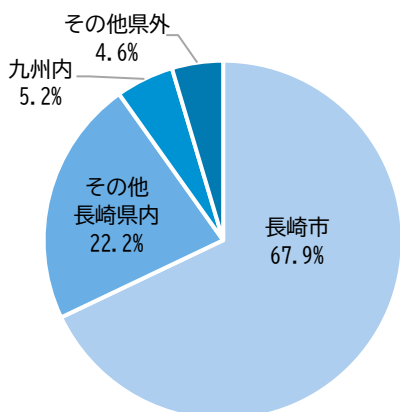
1 - (1) 性別



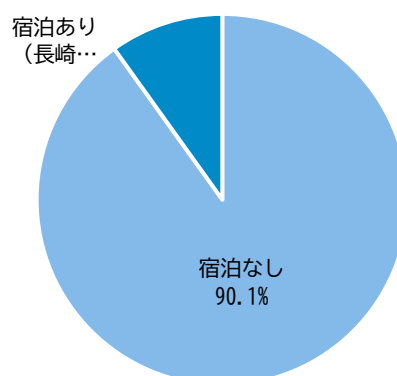
1 - (2) 年齢



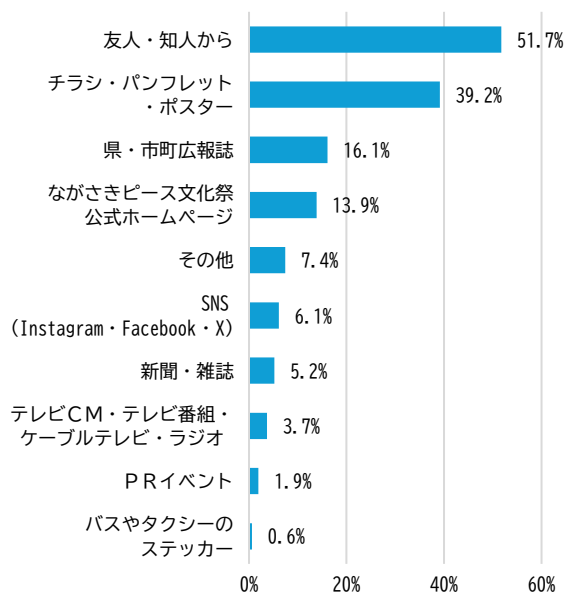
1 - (3) 居住地



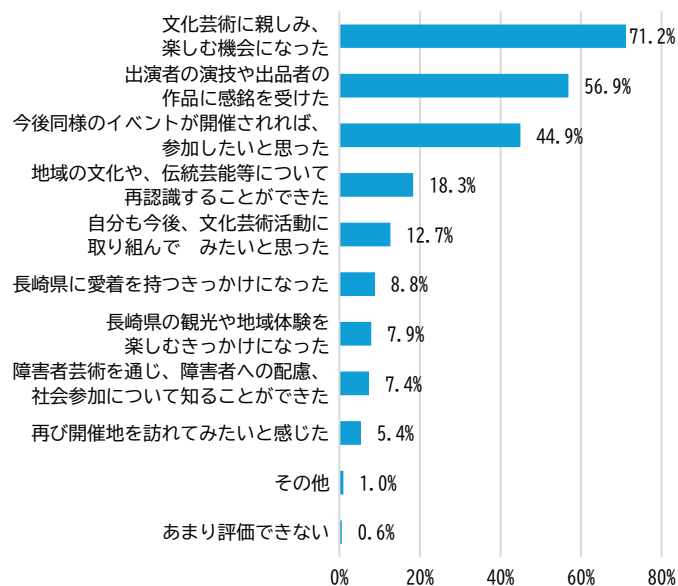
1 - (4) 宿泊の有無



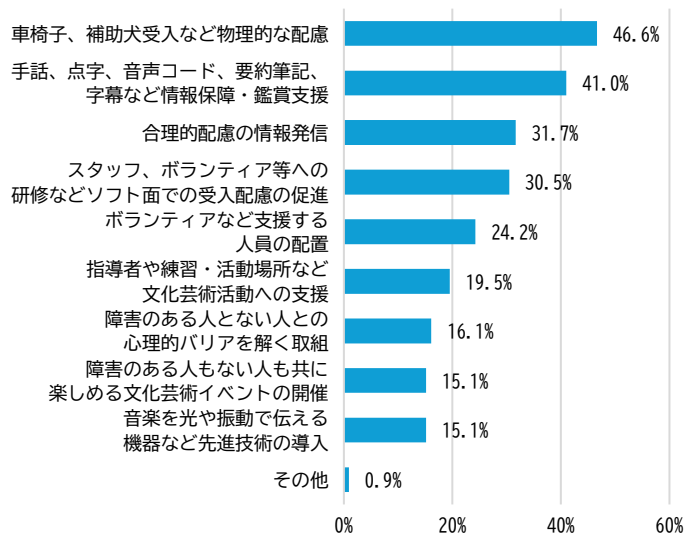
2 情報入手手段(複数回答)



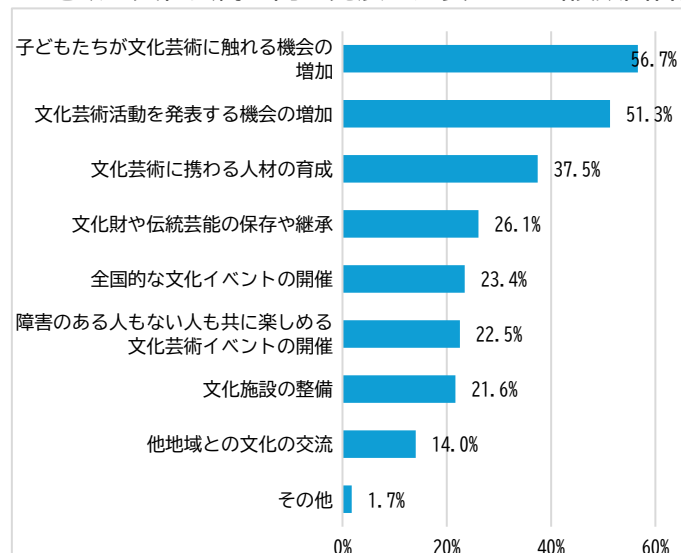
3 来場した事業の感想(複数回答)



4 アクセシビリティ向上のために必要なこと(複数回答)



5 地域の文化芸術の向上発展に必要なこと(複数回答)



第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、「第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会」（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭（以下「ながさきピース文化祭2025」という。）の開催に当たり、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会と連携し、長崎市で開催する実行委員会主催事業（以下「主催事業」という。）の開催準備等に必要の事業及び機運醸成に資する事業等を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 主催事業の開催に必要な企画、運営等に関すること。
- (2) ながさきピース文化祭2025の機運醸成に必要な事業の企画及び実施に関すること。
- (3) 関係機関及び団体との連絡調整等に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、実行委員会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

第2章 組織

(組織)

第4条 実行委員会は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

- 2 会長は、長崎市長をもって充てる。
- 3 副会長は、委員のうちから会長が指名する。
- 4 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。
 - (1) 文化団体を代表する者
 - (2) 文化施設等を代表する者
 - (3) 障害・社会福祉団体を代表する者
 - (4) 社会教育・交流団体を代表する者
 - (5) 学校・教育団体を代表する者
 - (6) 経済・産業団体を代表する者
 - (7) 観光・物産団体を代表する者

(8) 平和団体を代表する者

(9) 市議会議員のうち、会長が必要と認める職にあるもの

(10) 市職員のうち、会長が必要と認める職にあるもの

(11) 前各号に掲げる者のほか、会長が特に必要と認める者

5 会長は実行委員会を代表し、会務を総理する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が定めた順序により、その職務を代理する。

(監事)

第5条 実行委員会に、監事を置く。

2 監事は、会長が委嘱する。

3 監事は、実行委員会の会計その他の事務を監査する。

(任期)

第6条 会長、副会長、委員及び監事（以下「会長等」という。）の任期は、第16条の規定により実行委員会が解散する日までとする。ただし、会長等が就任時の機関又は団体の役職を離れたときは、その後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 会長は、やむを得ない事情により副会長、委員及び監事から辞任の申出があったときは、委嘱を解き、必要に応じて補充することができる。

(報酬)

第7条 会長等は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議)

第8条 実行委員会の会議として総会を置く。

(総会)

第9条 総会は、会長等をもって構成する。

2 総会は、会長が招集し、会長がその議長となる。

3 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 会則の制定及び改廃に関する事項
- (2) 主催事業等の準備、運営及び実施に関する重要事項
- (3) 事業計画及び事業報告に関する事項

- (4) 予算及び決算に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、ながさきピース文化祭2025の開催に係る重要事項
- 4 総会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、やむを得ない理由のため総会に出席できない委員は、代理人にその権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 5 総会の議事は、出席した委員（代理人にその権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 6 会長が必要と認めるときは、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、総会の議決に代えることができる。
- 7 会長が必要と認めるときは、委員以外の者に総会への出席を求めることができる。

（企画会議）

- 第10条 会長が必要と認めるときは、実行委員会に企画会議を置くことができる。
- 2 企画会議は、会長が必要と認める事項について協議し、その結果について総会に報告する。
- 3 企画会議の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第4章 会長の専決処分

（会長の専決処分）

- 第11条 会長は、総会を招集するいとまがないとき、又は総会の権限に属する事項で軽易なものについては、その議決すべき事項について専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会において報告しなければならない。ただし、軽易なものについては、この限りではない。

第5章 事務局

（事務局）

- 第12条 実行委員会の事務を処理するため、長崎市民生活部ながさきピース文化祭推進室内に事務局を置く。
- 2 会長が民法（明治29年法律第89号）第108条に規定する双方代理の禁止規定に抵触する契約を締結

しようとするときは、その職務を事務局長に委任する。

- 3 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

（会計）

第13条 実行委員会の経費は、負担金その他の収入をもって充てる。

- 2 実行委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

（会計年度）

第14条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

（監査）

第15条 監事は、実行委員会の決算について監査し、総会に報告しなければならない。

第7章 解散

（解散）

第16条 実行委員会は、その目的が達成されたときに解散する。

（残余財産の帰属）

第17条 実行委員会が解散した場合において、その残余財産は、長崎市に帰属するものとする。

第8章 補則

（補則）

第18条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この会則は、令和6年2月16日から施行する。

（経過措置）

- 2 実行委員会の設立当初の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、この会則の施行の日から令和6年3月31日までとする。

附 則（令和6年3月29日決裁）

この会則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則（令和6年5月16日議決）

この会則は、令和6年5月16日から施行する。

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会 委員名

令和7年7月1日現在

No.	役職	区分	所属団体・役職名	氏名
1	会長	行政	長崎市長	鈴木 史朗
2	副会長	市議会	長崎市議会議長	岩永 敏博
3		行政	長崎市副市長	柴原 慎一
4		行政	長崎市副市長	渡部 貴徳
5		行政	長崎市教育委員会教育長	西本 徳明
6		文化団体	(特非)長崎国際文化協会会長	森 拓二郎
7	文化団体	長崎県合唱連盟事務局長	上原 明弘	
8	文化団体	(公社)大正琴協会常務理事	藤澤 賢治	
9	文化団体	(特非)全国邦楽合奏協会理事長	藤本 玲	
10	文化団体	長崎番傘川柳会会長	三瀬 清一朗	
11	文化団体	長崎いけばな連盟会長	鈴木 萬里子	
12	文化団体	長崎県かるた協会事務局長	木場 正代	
13	文化団体	長崎県麻雀段位審査会会長	白石 晃一	
14	文化団体	(一社)茶道裏千家淡交会長崎支部幹事長	太田 早苗	
15	施設管理	長崎ブリックホール館長	藤田 敏明	
16	施設管理	長崎市チトセピアホール館長	出口 亮太	
17	施設管理	長崎市民会館館長	久保田 みどり	
18	施設管理	出島メッセ長崎館長	山田 浩一	
19	委員	障害・社会福祉	(一社)長崎市心身障害者団体連合会理事	橋口 幸恵
20		障害・社会福祉	(社福)長崎市社会福祉協議会会長	橋田 慶信
21		社会教育・交流	長崎市保健環境自治連合会会長	島崎 静夫
22		社会教育・交流	長崎市老人クラブ連合会総務・福祉部長	山崎 勝幸
23		社会教育・交流	長崎市婦人会会長	中山 明子
24		社会教育・交流	(公財)長崎県国際交流協会常務理事	大崎 義郎
25		学校・教育	長崎市立小学校長会副会長	野田 浩司
26		学校・教育	長崎市立中学校長会	上原 敏勝
27		学校・教育	長崎県高等学校文化連盟県南支部支部長	田川 耕太郎
28		経済・産業	長崎商工会議所会頭	森 拓二郎
29		経済・産業	長崎県商工会連合会理事	山崎 直樹
30		経済・産業	長崎市商店街連合会会長	本田 時夫
31		観光・物産	(一社)長崎国際観光コンベンション協会 理事長	田中 雅資
32		観光・物産	長崎市ブランド振興会 理事	井上 忠彦
33		平和	(公財)長崎平和推進協会 事務局長	中川 正仁
34		行政	長崎市企画政策部長	日向 淳一郎
35		行政	長崎市市民生活部長	羽佐古 潤二郎
36		行政	長崎市原爆被爆対策部長	阿波村 功一
37		行政	長崎市福祉部長	山口 伸一
38		行政	長崎市文化観光部長	前田 孝志
39	監事	行政	長崎市会計管理者	堀田 正和

第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会 事務局

(趣旨)

第 1 条 この規程は、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会会則（令和 6 年 2 月 16 日施行。以下「会則」という。）第 12 条第 2 項の規定に基づき、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会事務局（以下「事務局」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(事務分掌)

第 2 条 事務局の所掌事務は、別表第 1 のとおりとする。

(職員)

第 3 条 事務局に別表第 2 の左欄に掲げる職員を置き、同表右欄に掲げる長崎市市民生活部ながさきピース文化祭推進室職員をもって充てる。

2 前項に掲げる職員のほか、必要に応じ、事務局に非常勤職員を置くことができる。

3 前項の非常勤職員は、第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会会長（以下「会長」という。）が任免する。

(職務)

第 4 条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の職務を統括する。

2 事務局係長は、事務局長の命を受けて、事務局の係の事務又は所管の事務を掌理し、事務局係員を指揮監督するとともに、事務局長を補佐し、事務局長に事故があるとき又は事務局長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 事務局係員は、前各項に掲げる職員の命を受けて、担当の事務を処理する。

4 非常勤職員は、前各項に掲げる職員の命を受け、特定又は臨時の事務を処理する。

(服務)

第 5 条 事務局職員、非常勤職員の服務については、長崎市職員の例による。

(会長の決裁事項)

第 6 条 次に掲げる事項は、会長の決裁を受けなければならない。

(1) 第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会の委員の委嘱に関すること。

(2) 事務局規程及び企画会議規程の制定及び改廃に関すること。

(3) 1 件の金額が 200 万円を超える予算の流用を決定すること。

(4) 1 件の金額が 50 万円を超える予備費の充用を決定すること。

(5) 1 件の設計金額が 5,000 万円を超える工事又は製造の請負を決定すること。

(6) 1 件の設計金額が 1,500 万円を超える業務委託を決定すること。

(7) 1 件の支出予定額又は設計金額が 1,000 万円を超える物品の購入、修理等を決定すること。

(8) 寄附金、補助金、交付金、負担金、貸付金、償還金、利子及び割引料、投資及び出資金又は積立金（支出先及び支出先別金額が予算において決定しているもの又は法令等により支出基準があるものを除く。）で、1 件 500 万円を超えるものの支出を決定すること。

(9) 前 4 号に掲げるもの以外のもので、1 件の支出予定額又は設計金額が 1,500 万円を超えるもの。

(10) その他異例と認めるもの。

(専決)

第 7 条 事務局長及び事務局係長は、別表第 3 に掲げる事項を専決することができる。

2 前項に定めるもののほか、事務局長にあつては、長崎市政務決裁規程（昭和 41 年長崎市訓令第 4 号）第 2 条第 6 号に規定する部長の例により、事務局係長にあつては、同条第 13 号に規定する課長の例により専決することができる。

3 前各項の規定にかかわらず、特に重要又は異例であると認められる事項については、あらかじめ会長の指示を受けなければならない。

(代決)

第 8 条 専決権者が不在のときは、別表第 4 に掲げる区分に応じ、それぞれ同表に定める者が代決することができる。

2 前項の規定により代決した事項については、速やかに専決権者に報告しなければならない。ただし、あらかじめ処理の方針を示されたもの又は定例若しくは軽易なものについては、この限りでない。

(文書)

第9条 文書には、「長国文祭」の記号及び会計年度による一連番号を付さなければならない。

2 起案文書には、次の決裁区分を表示しなければならない。

- (1) 会長の決裁を受けるもの 会長
- (2) 事務局長の専決を受けるもの 局長
- (3) 事務局係長の専決を受けるもの 係長

3 会則第16条の規定により実行委員会が解散したときは、保存文書を長崎市へ引き継ぐものとする。

4 前各項に定めるもののほか、文書の取扱いについては、長崎市文書規程（昭和37年長崎市訓令第9号）の例による。

(公印)

第10条 事務局で使用する公印の名称、形状、寸法及び書体は、別表第5に掲げるとおりとする。

2 前項に定める公印の管理は、事務局係長が行うものとする。

3 前各項に定めるもののほか、公印の取扱いについては、長崎市公印規則（平成12年長崎市規則第134号）の例による。

(旅費及び費用弁償)

第11条 事務局職員の旅費の額及びその支給方法については、長崎市職員等の旅費に関する条例（昭和29年長崎市条例第29号。以下「旅費条例」という。）の例による。

2 実行委員会の委員等が会務のため旅行したときは、その旅費について費用弁償することができる。この場合において、費用弁償の額及びその支給方法については、非常勤の職員の報酬等に関する条例（昭和31年長崎市条例第24号。以下「非常勤職員報酬等条例」という。）の例による。

3 前各項の規定にかかわらず、緊急の場合又は旅費条例及び非常勤職員報酬等条例の例により難しいものにつ

いては、事務局長が別に定めるところによることができる。

(予算)

第12条 事務局長は、会長の指示に基づき、会計年度毎に予算を編成するものとする。

2 事務局長は、予算の議決後に変更を加える必要が生じた場合には、会長の指示に基づき、補正予算を編成するものとする。

(決算)

第13条 事務局長は、毎会計年度終了後、決算を速やかに調製し、証拠書類を添付して会長に提出しなければならない。

2 会則第15条の規定により監査を受けるときは、収支決算書その他の証拠書類を監事に提出しなければならない。

(出納員)

第14条 事務局に出納その他の会計処理をさせるため、出納員を置く。

2 出納員は、事務局係長をもって充てる。

(金融機関の指定)

第15条 現金の出納は、事務局長が別に指定する金融機関を通じて行うものとする。

(準用)

第16条 この規程に定めるもののほか、予算、決算、契約、収入、支出その他の財務に関する事項については、長崎市の例による。

(委任)

第17条 この規程に定めるもののほか、事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長の承認を得て事務局長が別に定める。

附 則

この規程は、令和6年2月16日から施行する。

附 則（令和6年3月29日決裁）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会 事務局体制

	令和 6 年 2 月 16 日	令和 6 年 4 月 1 日	令和 7 年 4 月 1 日	令和 7 年 7 月 1 日	令和 7 年 9 月 1 日
事務局長	市民生活部 文化振興課長	市民生活部ながさきピース文化祭推進室長			
事務局次長	文化振興課主幹	-			
事務局係長	文化振興課係長	ながさきピース 文化祭推進室係長 (1 人)	ながさきピース 文化祭推進室係長 (2 人)	ながさきピース 文化祭推進室係長 (2 人+兼務 1 人)	ながさきピース 文化祭推進室係長 (2 人)
事務局員	1 人	2 人	4 人	5 人	5 人
	・係員	・係員 2 人	・主事 1 人 ・係員 3 人	・主事 3 人 ・係員 2 人	・主事 3 人 ・係員 2 人

	令和 7 年 12 月 1 日	令和 8 年 1 月 1 日
事務局長	ながさきピース文化祭推進室長	
事務局次長	-	
事務局係長	ながさきピース 文化祭推進室係長 (1 人)	ながさきピース 文化祭推進室係長 (1 人)
事務局員	4 人	2 人
	・主事 2 人 ・係員 2 人	・主事 1 人 ・係員 1 人

ながさきピース文化祭 2025 の主な準備経過 ※本実行委員会設立以前を含みます。

時 期		内 容
令和 3 年度	7 月	国民文化祭の長崎県開催が内定
	9 月	市町担当課長会議（県主催）
令和 4 年度	2 月	市町担当課長会議（県主催）
	6 月	県から中央文化団体に対し事業実施意向調査
	7 月	市町担当課長会議（県主催）
	9 月～10 月	第 40 回国民文化祭における事業（分野別フェスティバル）実施意向調査（県→市町）
	10 月	第 40 回国民文化祭で実施する事業（地域の特色あるプログラム）の検討に向けた調査（庁内照会）
	11 月～ 3 月	県による分野別交流事業実施に係るマッチング作業
令和 5 年度	5 月	分野別交流事業受入れについて県へ回答
	7 月	市町担当課長会議（県主催）
	8 月	令和 6 年度開催地（岐阜市、大垣市）視察
	9 月	県から分野別交流事業の実施に係る内定通知 市から県へ承諾書提出
	10 月	いしかわ百万石文化祭 2023 視察（合唱の祭典、全国こどもオペラの祭典、川柳の祭典 他）
	12 月～ 1 月	地域の特色あるプログラム、分野別フェスティバル事業計画提出（市→県）
	2 月 16 日	第 40 回国民文化祭、第 25 回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会設立総会・第 1 回総会開催 市民生活部文化振興課内に長崎市実行委員会事務局設置
令和 6 年度	4 月	市民生活部ながさきピース文化祭推進室内に長崎市実行委員会事務局移管 市町担当課長会議（県主催）
	5 月	長崎市実行委員会令和 6 年度第 1 回総会開催 長崎市実行委員会実施計画策定、県実行委員会へ提出
	8 月	施設のバリアフリー・事業実施にあたっての合理的配慮の提供に関する調査、検討
	9 月	国民文化祭実行委員会（文化庁主催）でながさきピース文化祭 2025 の実施計画承認
	9 月 18 日	ながさきピース文化祭 2025 令和 6 年度分野別交流事業補助金交付要綱作成、説明会開催（補助事業実施団体向け）
	10 月～11 月	「清流の国ぎふ」文化祭 2024 視察（大正琴の祭典、合唱の祭典、小倉百人一首競技かるた全国大会、川柳の祭典）
	11 月	長崎市実行委員会令和 6 年度第 2 回総会開催（書面開催）
	11 月～12 月	各事業等開催要項・募集要項発出 （大正琴の祭典、川柳の祭典、小倉百人一首競技かるた全国大会、全日本健康マージャン交流大会、全国邦楽合奏フェスティバル、市民参加舞台、長崎プッチーニフェスティバル 2025（第 6 回マダム・バタフライ国際コンクール in 長崎） 文部科学大臣賞等各賞交付申請手続き

時 期		内 容
令和 6 年度	2 月	施設のバリアフリー・事業実施にあたっての合理的配慮の提供に関する再調査、検討 ながさきピース文化祭 2025 令和 7 年度長崎市実行委員会事業補助金の説明会開催（補助事業実施団体向け）
	3 月	長崎市実行委員会令和 6 年度第 3 回総会開催
令和 7 年度	4 月	市町担当課長会議（県主催）
	5 月	長崎市実行委員会令和 7 年度第 1 回総会開催（書面開催）
	7 月	長崎市実行委員会令和 7 年度第 2 回総会開催
	9 月 14 日～ 11 月 30 日	ながさきピース文化祭 2025 開催（78 日間）
	3 月	長崎市実行委員会令和 7 年度第 3 回総会開催・解散 予定

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
ながさきピース文化祭2025 長崎市記録集

発行 令和8年3月

編集・制作 第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会
(長崎市市民生活部ながさきピース文化祭推進室)

- ※ 写真は、長崎市実行委員会事務局が撮影したほか、事業実施団体、長崎県から提供を受けました。
- ※ 「3 概要」を除く項目については敬称を省略しています。
- ※ 無断転載・複写を禁じます。